

障害者と雇用

2025/3 No.569

働く広場

特集

第44回 全国アビリンピック

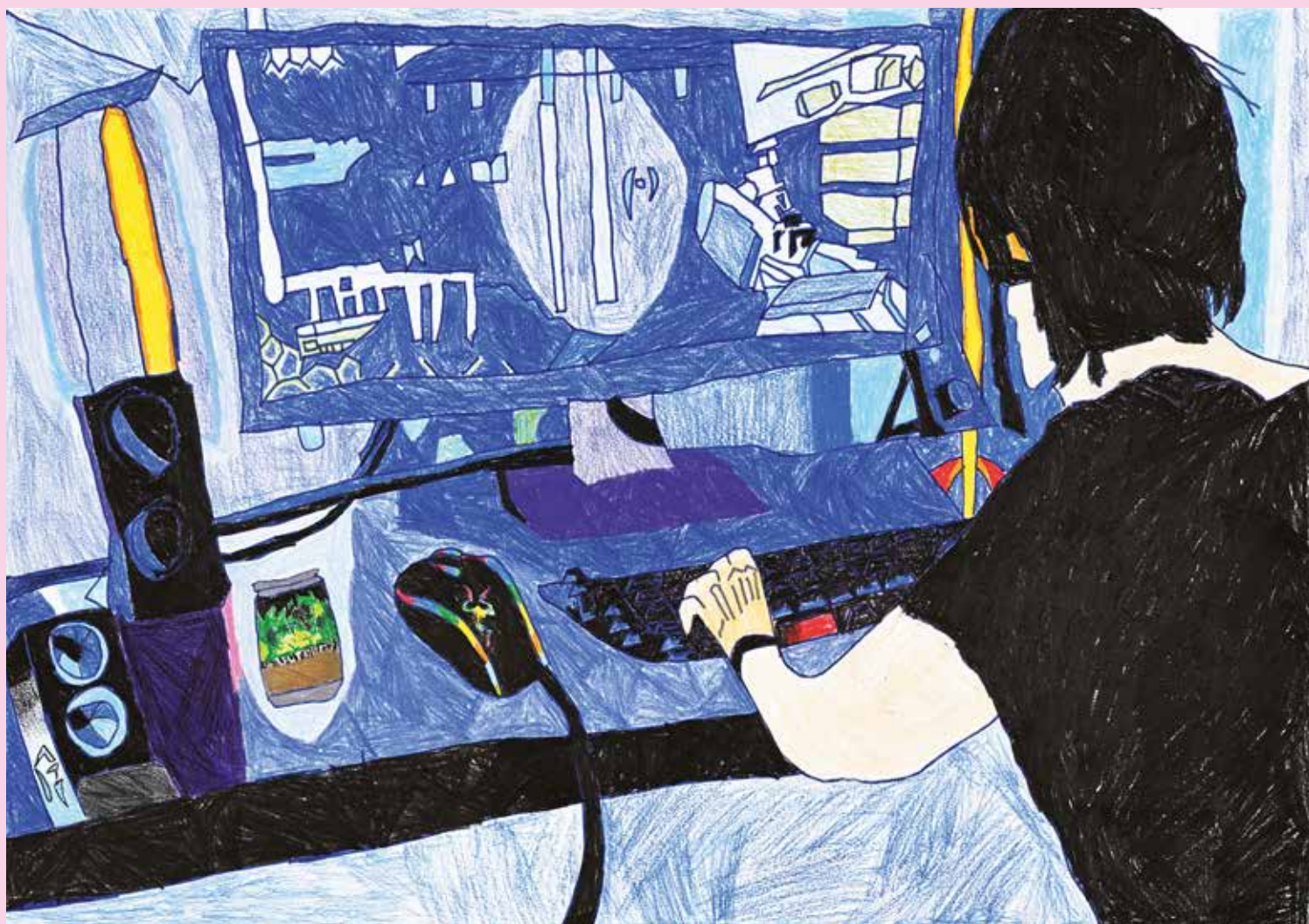
グラビア／アビリンピックルポ／入賞者一覧／
「アビリンピック」についてご紹介！

特別企画

企業のみなさまにおすすめするマニュアルのご紹介

～法定雇用率の引上げや「雇用の質」の向上に向けて～

障害者職業総合センター 研究部門



「ゲームをしているプロゲーマー」愛知県・村松 蒼さん むらまつ そう

／らしく、はたらく、ともに／



独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED)

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

3 月号

第44回

全国アビリンピック

2024(令和6)年11月22日(金)~24日(日)

写真: 官野 貴・岩尾克治



会場となった「愛知県国際展示場」(Aichi Sky Expo)



メダルに見入る選手や来場者



入賞者に贈られる金・銀・銅・努力賞のメダル

第44回全国アビリンピック 開会式



技能五輪の選手とともに選手宣誓を行う、愛知県代表の波多野千夏さん
(手前右から2人目)



アビリンピック大会旗を大会名誉会長に手渡し、愛知県代表の井出依芭さん



県旗を威勢よく振る、奈良県代表の石井郁光さん



都道府県旗の入場



愛知県立愛知商業高等学校書道部
によるパフォーマンス



名古屋たちばな高等学校マーチングバンド部
によるパフォーマンス



愛知県立春日井高等特別支援学校音楽部
によるハンドベル演奏



「木工」



「データベース」



「DTP」



「洋裁」



「写真撮影」



「喫茶サービス」



「製品パッキング」



「義肢」



「パソコンデータ入力」



「ビルクリーニング」



「パソコン操作」



「コンピュータプログラミング」



「パソコン組立」

目次

2025年3月号

No.569

「働く広場」は、
障害者雇用の啓発・広
報を目的として、ルポ
ルタージュやグラビア
など写真を多く用いて、
障害者雇用の現場とそ
の魅力をわかりやすく
お伝えします。

特集

第44回 全国アビリンピック

障害のある人たちが日ごろつちかった技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある人に対する理解と認識を深めてもらい、雇用の促進を図ることを目的とした「第44回 全国アビリンピック」が、2024（令和6）年11月22日（金）～24日（日）に、愛知県で開催されました。その模様をお届けします。

グラビア

写真：官野 貴・岩尾克治

巻頭・巻末

アビリンピックルポ

文：豊浦美紀／写真：官野 貴・岩尾克治

4

入賞者一覧

12

「アビリンピック」についてご紹介！

14

JEEDインフォメーション

新たに開発した支援技法をご紹介します 障害者職業総合センター／
「読者アンケート」結果発表!!

16

エッセイ

誰一人取り残さない防災とは？

第4回 個々の脆弱性に応じた衡平性原理

同志社大学社会学部教授 立木茂雄

19

特別企画

企業のみなさまにおすすめするマニュアルのご紹介

～法定雇用率の引上げや「雇用の質」の向上に向けて～

障害者職業総合センター 研究部門

20

省庁だより

令和6年 障害者雇用状況の集計結果①

厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課

24

『働く広場』記事索引

2024年4月号～2025年3月号

28

掲示板・次号予告

読者の声

30

※「心のアート」、「この人を訪ねて／私のひとこと」、「クローズアップ」、「研究開発レポート」、「編集委員が行く」、「ニュースファイル」、「編集委員のひとこと」は休載します

表紙絵の説明

「ゲームをする人物を描くのがむずかしかったけれど、パソコンの画像はうまく描けました。受賞を聞いたときは、本気で絵を描いた成果だと思い、とてもうれしかったです。将来の夢はパソコンを扱う仕事です。いま情報関係の学校へ進学するためにがんばっています」
(令和6年度 障害者雇用支援月間絵画コンテスト 中学生の部 高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長奨励賞)



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

◎本誌掲載記事はホームページでもご覧いただけます。
(<https://www.jeed.go.jp/disability/data/works/index.html>)



第44回 全国アビリンピック

11月
22～24日

「第44回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック)」が2024(令和6)年11月22日(金)～24日(日)、第62回技能五輪全国大会とともに愛知県常滑市の愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)で開催された。今回は、全国47都道府県から集まった選手398人が、技能競技25種目と技能デモンストラクション2職種で日ごろつちかてきた技能を披露した。

文：豊浦美紀／写真：官野 貴・岩尾克治



会場となった「愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)」



輪島忍JEED理事長
による挨拶



大村秀章愛知県知事
による挨拶



名古屋たちばな高等学校
マーチングバンド部のパフォーマンス



愛知県立春日井高等特別支援学校
音楽部によるハンドベル演奏

開会式

11月22日(金)

2019(令和元)年以來の対面形式となった開会式は、第62回技能五輪全国大会と合同で行われた。オープニングでは、愛知県立春日井高等特別支援学校音楽部によるハンドベル演奏と、名古屋たちばな高等学校マーチングバンド部のパフォーマンスが会場を盛り上げた。

大村秀章愛知県知事の挨拶のあと、安藤たかお厚生労働大臣政務官に続き登壇した当機構(JEED)の輪島忍理事長は「1972(昭和47)年に日本で始まったアビリンピックは、いまや世界的な広がりを見せ、多くの人々が参加するたいへん重要なイベントになっています。選手のみなさんは代表としての誇りを胸に、これまでに職場や学校で磨き上げてきた自分の技をいかなく発揮し競技に臨んでください」などと激励した。また石破



開会式は5年ぶりに対面形式で行われた



石破茂内閣総理大臣のメッセージを代読する
堀井奈津子厚生労働省人材開発統括官



愛知県立愛知商業高等学校書道部による
パフォーマンス

茂内閣総理大臣のメッセージを代読した厚生労働省の堀井奈津子人材開発統括官は「両大会に参加される選手のみなさんがつちかてきた優れた技能が競技を通じて人々に感動を与え、わが国の成長と未来の原動力となることを確信しております」などと伝えた。

アビリンピック大会旗入場では、「家具」種目に出場する井出依奈さん(愛知県)が旗手をつとめた。その後、愛知県立愛知商業高等学校書道部が、音楽にのせた書道パフォーマンスを披露。巨大な紙に「奮励激闘」などと躍動感あふれる筆文字を書き上げ、選手たちにエールを贈った。

最後に行われた選手宣誓は、「喫茶サービス」種目に出場する波多野千夏さん(愛知県)が、技能五輪の選手とともに「われわれ選手一同は、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを胸に、日ごろの訓練成果を最大限に発揮し、最後まで諦めず、正々堂々と競技することを誓います」と力強く表明した。



「喫茶サービス」
福田弥空さん（宮崎県）



「ビルクリーニング」
古川拓夢さん（福岡県）



波多野千夏さんは技能五輪の選手とともに
選手宣誓を行った



井出依芭さんはアビリンピック
大会旗の旗手を務めた

11月23日（土）

競技紹介 選手・関係者の声

●ビルクリーニング／喫茶サービス／ オフィスアシスタント／製品パッキング

「ビルクリーニング」は、カーペット床
清掃（7分）（※、弾性床清掃と机上清掃
（10分）の2課題。資機材の使い方や無駄
のない動線、作業態度などが評価ボイン
トとなる。古川拓夢さん（福岡県）は、

衛生管理会社に勤めて12年のベテランで、
いまは公共施設内の清掃などを任されて
いるそうだ。姿勢と正確な作業順序に気
をつけ、社内の研修室で何十回も特訓を
重ねてきたという古川さんは「大きな目
標は世界一ですが、まずは日本一を目ざ
してがんばりたい」と意欲をみせていた。

「喫茶サービス」は、会場につくられ
た模擬喫茶店で3〜4人程度のグルー
プごとに連携・協力しながら、お客さまが
くつろげるよう正確かつスムーズな接客
サービスを目ざす（1グループ約60分）。
全国アビリンピック初出場の福田弥空さん



「オフィスアシスタント」
中村楓さん（福島県）



「製品パッキング」
安食香菜美さん（島根県）



「ワード・プロセッサ」銀賞、
鈴木誉さん（三重県）

（宮崎県）は、大手化学メーカーの特例子
会社で働いている。カフェの仕事に興味
があった福田さんにアビリンピック挑戦
をすすめたという同社社員は、「将来的
には社内でもカフェ事業を検討したい」
と話す。1回目の競技後に福田さんは「緊
張して練習と全然違っていました。次は
もっと周りをよく見て、チームで声かけ
をして、笑顔で接客したいです」と話し
ていた。

「オフィスアシスタント」は、①配布
物の準備（15分）、②発送書類の封入
（30分）、③社内便の仕分け（10分）の3
課題。スピーディーかつ過不足のない封入
ポイントに宛名シールを貼るための
集中力や注意力が求められる。

何度か挑戦して念願の全国アビリンピッ
ク初出場となった中村楓さん（福島県）は、
特別支援学校卒業後に地元の銀行の特例
子会社で封入作業や振込関係のデータ入
力などを担当。同行した上司によると「昨
年この種目で銅賞を受賞した先輩社員か
らアドバイスをもらい、特訓しました」
とのこと。競技後、中村さんは「少し緊
張しましたが、練習した通りにできました」。

今後の仕事にもつながっていきたいです」
と話してくれた。

「製品パッキング」は、①2種類の緩
衝材の組立・結束25セットを5束（30分）、
②小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セッ
トアップ4梱包を4箱分（60分）の2課題。
より速く正確にパッキングを完成させる
ための改善が必要とされる。2回目の挑
戦で全国アビリンピック出場を決めた安
食香菜美さん（島根県）は、母親によると、
特別支援学校時代にアビリンピックを見
学して興味を持ち、就労移行支援事業所
で箱づくりなどをしながら自宅でも熱心
に練習していたそうだ。競技後、安食さん
は「お母さんにも手伝ってもらって一生
懸命練習してきました。点数としては50
点ぐらいですが、楽しくできました」と
笑顔をみせていた。

●ワード・プロセッサ／パソコンデータ入力／ パソコン操作／表計算

「ワード・プロセッサ」は、ワープロソ
フトの各種機能（ページ設定、文字入力、
書式設定、図表等の利用、ファイルの操作・
印刷）を使いこなしながら、作成見本と
作業指示書に沿って、和文文書の作成
（80分）と英文文書の作成（60分）を
行う。

鈴木誉さん（三重県）は、過去の
全国アビリンピックで努力賞、銀賞
を受賞。電子部品関連メーカーの特
例子会社でデータ入力などを担当し
て9年目。「前は機能設定に少し手
間取ってタイムロスをしたので、今

※ 課題内容後の（ ）内の時間は、競技時間をさします



「パソコンデータ入力」銀賞、
柳綺佳さん（山口県）

操作」は4課題で、①適切な関数を用いた表計算ソフトのデータ修正加工、②インターネットから情報を入力し、表計算ソフトの指定フォーマットへのデータ入力・作成、③プレゼンテーションソフトを使用した資料の作成、④表計算ソフトの関数を用いたデータ処理（計90分）。藤戸雅也（ふじと まさや）さん（岩手県）は、県庁に入職し6年目。いまは表計算ソフトでマクロ設定などの業務を担当している。「銀賞だった昨年は

のリスキリング講座」がテーマのオンライン講座を告知し受講意欲を喚起するリーフレット（両面カラー）の作成（3時間30分）。プランニング力のほかタイトルや色彩、レイアウト、フォントなどオールマイティな知識が求められる。大手農業機械メーカーの特例子会社に勤める**政所明日香**さん（大阪府）は、データ入力などの補助業務を担当し、社内行事のチラシ作成なども任されている。同行した社員は「職場では多様なデザインを時間内にできるよう練習していました。自然と作業スキルも上

ツの魅力を紹介するホームページ」の作成（4時間30分）。作成スキルのほか情報設計や独創性、芸術性、ユーザビリティ、アクセシビリティに関する知識が求められる。^{うえま まゆみ}**上間真弓**さん（沖縄県）は、就労継続支援A型事業所でホームページ制作から保守管理、DTP業務なども手がける。競技後は「アクセシビリティへの対応など去年よりむしろかしくなっていました」が、なん



「機械CAD」
木村智成さん（福井県）



「コンピュータプログラミング」
上島一晃さん（埼玉県）



「ホームページ」 努力賞、
上間真弓さん（沖縄県）



「データベース」 銀賞、
手島拓身さん（東京都）



「建築CAD」 銀賞、
佐藤康太郎さん（東京都）



「電子機器組立」
静谷康平さん（栃木県）

とか完成させました。今度は、みんなに嫉妬されるような作品を目ざしたいです」と意欲をみせ、努力賞を受賞した。

「コンピュータプログラミング」は、人間と同様に手先の位置と方向を操作できる小型卓上ロボットアームの動きを指示するプログラムを作成し、今回は増輪の描画を完成させる（6時間）。大手建材メーカーに勤める上島一晃さん（埼玉県）は、5回目の全国アビリンピックで、これまでに「表計算」種目で努力賞を受賞している。「今大会に向けて使用プログラムのロジックを覚えましたが、とにかく計算などがむずかしかったです。今後もメダルを目ざしてがんばりたいです」と前向きだった。

●機械CAD／建築CAD／電子機器組立／パソコン組立

「機械CAD」の課題は、3次元CADシステムを使用した「伝動軸」の部品図と組立図、組立図と立法分解図の作成（3時間10分）。与えられた組立図、部品図を読図して立体的に把握し、指示内容にしたがって作図と寸法記入などを行う。

木村智成さん（福井県）は、15年以上勤める大手電子部品メーカーで機械CAD

を使いこなす。応援に来ていた上司や同僚は「片手が使えない彼にとつて、この競技は時間的なハンディキャップがあると感じます」と話していたが、木村さんは「言い訳はしません。全国アビリンピックの問題のレベルが高かったですね。競技のための時間配分が必要でした」と悔しそうにふり返っていた。

「建築CAD」は、小規模なグループホームを目的とした鉄筋コンクリート造2階建てビルの図面（縮尺1/100の平面図、立面図、断面図）をA3用紙2枚に仕上げるなかで、作業の正確さと速さを競う（3時間30分）。佐藤康太郎さん（東京都）は、勤続11年になる大手住宅メーカーで住宅内部設計を担当。4回目となる全国アビリンピックに向けて練習を重ねてきたそうだ。「まだまだ甘いところがあって、悔しい思いがあります」と明かしたが、今回は同種目出場選手のなかで唯一の入賞となる銀賞に輝いた。

「電子機器組立」の課題は、省エネコントローラーの組立（4時間30分）。近年の機器小型化にあわせ、競技でも3・2mm×1・6mm、厚さ0・6mmなど小さな部品を正確に取り扱う技術が求められる。電子機器関連企業に勤めて2年目の静谷康平さん（栃木県）は、全国アビリンピック初挑戦。応援に



「パソコン組立」
石原正太郎さん（愛知県）

来ていた上司によると「昨年は技能五輪のサポートチームに同行していました。本人は技能検定2級にも合格し、特訓を重ねてきました」という。競技後、同僚たちに囲まれ大粒の涙をこぼしていた静谷さん。「ミスに気づかず作業を進めてしまいました。来年は必ず完成させて入賞、いや金賞を目ざします」と力強くリベンジを誓っていた。

「パソコン組立」は、デスクトップ型パソコンの中身を組み立て、ソフトウェアのインストールや設定を行う（4時間）。ハードとソフトの両面から、作業の完成度や的確さなどを競う。石原正太郎さん（愛知県）は、情報システム会社でデータ整理などを担当。前職でパソコン組立の経験があるが、今回は残念ながら完成しなかった。同僚たちに励まされつつ「途中でどこかが破損したのか、画面が映らなくなりました。こうしたトラブル回避も競技のうちですね。また挑戦したいです」とふり返っていた。

●歯科技工／義肢／家具／木工

「歯科技工」の課題は、歯科医療で使



開会式で大会旗旗手をつとめた
井出依芭さん(愛知県)は「家具」種目に出場



「義肢」金賞、
吉原晃一さん(長崎県)



「義肢」銀賞、
大橋義樹さん(茨城県)



「歯科技工」
箱石哲郎さん(青森県)

われるCADを用いた被せもの(歯列)のデザイン(2時間)と、CAMを用いてプリントした製作物の課題模型への適合(1時間)。天然歯列に調和したデザイン、かみ合わせ、模型への適合などが評価ポイントだ。箱石哲郎さん(青森県)は、歯科技工所を経営しながらアビリンピックに何度も挑戦している。「僕らアナログ世代は、デジタル化についていくのもたいへんですが、思いきって設備投資もして新しい技術を学んでいます」と話し、関係者と熱心に情報交換をしていた。

「義肢」の課題は、繊維強化プラスチック製の「下腿義足ソケット」の製作(4時間15分)。切断部分の正確な型どり、解剖学的・人間工学的知識をもとにした修正、正確な加工・組立を行うための技能などが求められる。今回出場したのは大橋義樹さん(茨城県)と、吉原晃一さん(長崎県)の2人で、それぞれ義肢の会社に勤めながらの初出場。競技後に大橋さんは「見られながら製作するのは初めてで作業も予想外のことがありました。貴重な経験をていねいな義肢づくりに活かしたいです」と話した。一方の吉原さんは「自身が義足で、会社では測定器具をつくっています。今回の挑戦で多くのことを学べました」とふり返った。結果、吉原さんは金賞に、大橋さんは銀賞に輝いた。

「家具」の課題は、花台の製作(5時間30分)。手工具や木工機械を使って図面にもとづいた正確で見栄えのよい作品を完成させる。板と板、角材と角材の接合をい

かに正確に加工できるかが重要だ。選手3人を送り出していた愛知県のろう学校の先生は、「初めてで緊張したようで、いつも通りにはできませんでしたね。3人とも2年生なので、また来年がんばると思います」と話していた。ちなみに同校OBで、第10回国際アビリンピック(フランス・メッス大会)の「家具(応用)」で銅賞を受賞した伊藤俊貴さんは、今回、第62回技能五輪全国大会に出場したそうだ。

知的障害のある選手が参加する「木工」の課題は、「蓋付き木箱」の製作(5時間)。のこぎり、のみ、かんなどの手工具を使い、機械作業ではできないような完成度の高い洗練された製品づくりを競う。高等特別支援学校3年生の坂尾麻奈さん(茨城県)は、銅賞だった昨年の講評を参考に、重点的に練習したそうだ。同行した先生は「学校には各種コースがありますが、専門的な学習を通して、働くときに必要な姿勢、挨拶や報告、同僚との協力などを全般的に学び、どんな業種でも通用するようにして就職を目指しています」という。すでに木工関係の会社から内定をもらったという坂尾さんは、「今年は90点です。思い残すことはありません」と手応えを語った通り、銀賞に輝いた。

●洋裁／縫製／フラワーアレンジメント／ネイル施術／写真撮影

「洋裁」の課題は、薄手ウールを使ったオーダー仕立ての「オーバードライウス」の製作(6時間)。粗裁された布地の裁断→芯貼り→印付け→本縫いミシン→ア

イロン→ロックミシンの順で作業を進める。見た目も美しい仕上がりが求められる。梅本遙香さん(大分県)は、10年近く勤める服飾会社で裁断を担当し、社長からアビリンピック挑戦をすすめられ、初挑戦。「職場とは違うやり方が多くて戸惑いでしたが、なんとか仕上がりました」と安堵の様子だった梅本さんは、今回同種目でトップとなる銀賞を受賞した。

「縫製」の課題は、エプロンの縫製(4時間)。配布された9枚のパーツをもとにミシンやアイロンなどを使って完成させる。布地の表裏を正しく見きわめ、各工程にあわせた適切な技術と判断力が必要とされる。松高美咲さん(佐賀県)は、大手自動車部品メーカーの子会社で車のシートカバーの縫製などを担当。アビリンピックには特別支援学校時代から挑戦し、今回の初出場を受けて先生が自宅に指導に通ってくれたそうだ。「今回はポケットの部分がいかにできなかったのが反省点。練習がたいへんだったので、再挑戦するかどうかは考えます」と苦笑いしていた。

「フラワーアレンジメント」は花束(55分)、ブライダルブーケ(55分)、会場装飾(90分)の3課題。このうち会場装飾は骨組みを使ったアレンジメントで、国際アビリンピックの競技内容が取り入れられた。不動産会社に勤める兵頭麻耶さん(愛媛県)は、フラワー教室の講師も務めるほどの腕前で、以前通っていた職業訓練校にすすめられて出場。「今日は講評で先生にブーケをほめていただい



「フラワーアレンジメント」努力賞、
兵頭麻耶さん（愛媛県）



「縫製」松高美咲さん（佐賀県）



「洋裁」銀賞、
梅本遙香さん（大分県）



「木工」銀賞、
坂尾麻奈さん（茨城県）



「ネイル施術」努力賞
櫻田史武さん（広島県）



「写真撮影」
森崎久美子さん（香川県）



技能デモンストレーション
「RPA」



技能デモンストレーション
「ドローン操作」

て励みになりました」と語っていた兵頭さんは、努力賞を受賞した。

「**ネイル施術**」は、ネイルケアとカラーリング（75分）、ネイルチップアート（70分）の2課題。健康的で美しい爪と指を保つためのマニキュアサービス技術と、小さな爪の上に表現するアートの芸術性などを競う。初出場の**櫻田史武さん**（広島県）は歯科技工士だ。妻のネイルを歯科材料で修復できたことから興味を持ち、専門学校に通ってネイルの資格を取得。いまは週末にネイルサロンや教室を開いている。聴覚障害のある櫻田さんは競技後「アビリンピック出場を機にネイル技術への向上心が深まり、よい経験になりました。また参加して金メダルを目指したい」と話し、今回努力賞を受賞した。

「**写真撮影**」の課題は、愛知県国際展示場で開催されるアビリンピックをパンフレットなどで紹介することを想定した、「行ってみたい」と思える魅力的な写真の撮影（4時間）。展示ブースで撮影許可を得たポートレートも含め、基本的な技術や構成力などを競う。**森崎久美子さん**（香川県）は、就労継続支援B型事業所

で梱包作業などを行っているが、写真が趣味であることから周囲にすすめられ2回目の出場。「昨年よりもできたと思うのですが、参加選手が増えてレベルが高いですね。次は編集ソフトを使えるようになりたいです」と抱負を語ってくれた。

●**技能デモンストレーション**
RPA／ドローン操作

今回初めて実施された「**RPA**」は、「Robotic Process Automation（ロボティック・プロセス・オートメーション）」のことで、パソコンで行う事務作業の自動化をさす。競技は①プログラムの新規作成、②プログラムの修正と機能追加の2課題で、成果物の結果の正しさや処理動作の安定性・速さ、可読性（わかりやすさ）が求められる。競技形式で実演した、不動産企業の特例子会社で働く4人は、日ごろは入金記録やインボイスの入力自動化などを手がけている。関係者は「RPAは障害者雇用の新しい領域として広まりつつあるので、関心が高いですね」と手応えを語っていた。

一方、前回に続き実施された、岡山県の国立吉備高原職業リハビリテーション

センターによる「**ドローン操作**」は、車いすユーザーや聴覚障害のある人なども職場で活躍できるという。特設会場では、建築物の点検業務を想定し、高い場所に設置された模擬障害物に貼りつけた数字や破損個所などをドローンで見つけて撮影し、位置を把握するまでが披露されていた。

また競技会場では、愛知県の協力により、見学者のために競技解説ガイドを配置。特別支援学校高等部2校の生徒10人とアビリンピック出場企業からの専門家10人が、8種目の競技をわかりやすく解説していた。

●**障害者ワークフェア2024**

競技エリアの隣接フロアで開催された「障害者ワークフェア2024」で働く障害者を応援する仲間の集い」は、全国アビリンピックの一環として、障害者の職業能力や雇用に関する展示・実演などを通して来場者に理解と認識を深めてもらうことが目的。今年は100団体・事業所等が「能力開発エリア」、「就労支援エリア」、「職場紹介エリア」、「特設コーナー」にそれぞれ出展し、多くの来場者でにぎ



閉会式では、ハイライト映像の上映が行われた



特別イベントに登壇した
中日ドラゴンズの福敬登投手（中央）



「障害者ワークフェア2024」



客席からの拍手にこたえ、表彰台から手をふる入賞者

クが開催されます。次の第45回大会は、その選手選考会も予定しています。国際大会に向けて国内大会のさらなる充実を図っていきます」などと挨拶。続いて厚生労働省の高橋秀誠大臣官房審議官の来賓挨拶のあと、

閉会式

11月24日(日)

わっていた。特設ステージでは出展者の紹介や実演、トークショーなども開催。なかでも今回は、国指定難病の黄色じん帯骨化症を克服し再び一軍マウンドに復帰した中日ドラゴンズの福敬登投手を招き、ろう学校の生徒を公式戦などに招待する「福敬登招待プロジェクト」活動について紹介し、つめかけたファンらとともに盛り上がりつつあった。

午前10時から行われた閉会式には、開

会式同様に大勢の選手たちが参加した。前日にくり広げられた全競技のハイライト映像が放映されたあと、大会会長挨拶に立ったJ.E.D.の輪島忍理事長が「3年後の2027年にはフィンランドのヘルシンキにおいて第11回国際アビリンピックが開催されます。

金賞受賞者たちの喜びの声

成績発表と表彰が行われた。ステージ上では、大きな拍手とともにメダルを付けてもらった受賞者たちが、笑顔やガッツポーズで喜びの気持ちをあらわしていた。最後に、次回大会開催地である愛知県の大村秀章愛知県知事が大会名誉会長として登壇し「今回は、閉会式前に各都道府県選手団の交流会を開催しました。今大会を通じて生まれたつながりをぜひ大切にしてください。第45回全国アビリンピックもみなさんにお会いできることを楽しみにしております」などと締めくくった。閉会式終了後は、ステージ前で記念写真を撮ったり、選手同士でたたえ合ったりする姿があちこちでみられた。

「DTP」の佐山いせ子さん（長野県）は、「初めての全国アビリンピックで金賞をとれるとは思わず、ちょっと驚いています。が、応援してくれた職場のみんなに感謝したいです。今回の経験を仕事に活かしていきます」。

「機械CAD」の篠孝忠さん（愛知県）は、「とてもうれしいです。最高です。新しい課題だったので少し心配していましたが、また挑戦したい気持ちです。今後も仕事に活かしていきたいです」。

「電子機器組立」の小西将矢さん（愛知県）は、「初めての全国アビリンピックだったので緊張しましたが、一生懸命に練習してきた成果を出せてうれしく思い

ます。いまの仕事にも通じるので、これからがんばっていききたいです」。

「義肢」の吉原晃一さん（長崎県）は、「初出場、練習よりはうまくできましたが、すでに次大会のことを考えていたくらいでした。もっと技術を向上させて、仕事にも発揮していきたいです」。

「歯科技工」の土持龍人さん（東京都）は、「初出場だったので正直、金賞がとれると思っていなくて驚いています。今後仕事をがんばっていききたいです。本当にありがとうございます」。

「フード・プロセッサ」の岡出慎之介さん（東京都）は、「努力賞さえもらえるかどうかと思っていたので、応援してくれた方たちに感謝したいです。今後はもっと遊び心のある文書もつくっていききたいですね」。

「データベース」の米田涼子さん（福岡県）は、国際アビリンピック経験者。「銀賞だった昨年の失敗からミスをしないよう心がけました。言葉にあらわされないほどうれしいです。支えてくれたみなさんに感謝したいです」。

「ビルクリーニング」の高橋里実さん（福岡県）は、「本当に驚いています。練習はつらくて逃げたくなりましたが、親や先生に相談しながら、諦めずに最後までやり切ることができてよかったです」。

「製品パッケージ」の勾坂まどかさん（愛知県）は、「これまで何度も挑戦し続けてきて、やっと夢がかないました。うれしくて、言葉が出ないほどです。職場で



「義肢」金賞、
吉原晃一さん（長崎県）



「電子機器組立」金賞、
小西将矢さん（愛知県）



「機械CAD」金賞、
篠孝忠さん（愛知県）



「DTP」金賞、
佐山いせ子さん（長野県）



「ビルクリーニング」金賞、
高橋里実さん（福井県）



「データベース」金賞、
米田凉子さん（福岡県）



「ワード・プロセッサ」金賞、
岡出慎之介さん（東京都）



「歯科技工」金賞、
土持龍人さん（東京都）



「ネイル施術」金賞、
板倉令奈さん（沖縄県）



「表計算」金賞、
西本康次郎さん（富山県）



「喫茶サービス」金賞、
細井日菜さん（東京都）



「製品パッキング」金賞、
匂坂まどかさん（愛知県）



「木工」金賞、
福島大樹さん（岩手県）



「パソコンデータ入力」金賞、
石井郁光さん（奈良県）



「パソコン組立」金賞、
柿木徹夫さん（栃木県）



「写真撮影」金賞、
日高有彩さん（鹿児島県）

もがんばっています。ありがとうございました。

「喫茶サービス」の細井日菜さん（東京都）は、「職場に背中を押してもらい4年ぶりの参加で、チームのサポートでここまでできました。磨いてきた技術を社内カフェでも発揮していきたいです」。

「表計算」の西本康次郎さん（富山県）は、「全国アビリンピック3回目での金賞は本当にうれしです。自分に足りないものを練習し続けたことがよかったと思います。今後もスキルアップを目指します」。

「ネイル施術」の板倉令奈さん（沖縄県）は、涙を見せながら「初挑戦でうれしいです。ネイルの先生に恩返しできました。身体障害者になっても夢を諦めずにいれば、世界が広がることを知りました」。

「写真撮影」の日高有彩さん（鹿児島県）は、「初めての全国アビリンピックで、言葉にならないほどのうれしさです。参加をすすめてくれた先生には遊び心をもつよう助言してもらいました。国際大会も目指します」。

「パソコン組立」の柿木徹夫さん（栃木県）は、「最高の気分です。日ごろからスキルを忘れないよう練習を続けてきました。好きなことはとことん夢中になります。今後もアップデートしていきます」。

「パソコンデータ入力」の石井郁光さん（奈良県）は、「感無量です。2年連続で銀賞だったので、今年こそという気持ちでした。周囲への感謝とともに自分をほめてあげたいです。誇れるものができました」。

「木工」の福島大樹さん（岩手県）は、「全国アビリンピックは4回目です。練習の成果を発揮して、きれいな箱とふたをつくることができました。金賞をとれて、びっくりしました。ありがとうございました」。

第44回 全国アビリンピック



入賞者発表!



銀賞

洋裁	梅本 遙香	大分県 株式会社アーバン大分
DTP	安藤 恵	宮城県 一般社団法人COM'S
建築CAD	佐藤康太郎	東京都 東京セキスイハイム株式会社
電子機器組立	飯田 恭士	愛知県 株式会社デンソー
義肢	大橋 義樹	茨城県 株式会社幸和義肢研究所
歯科技工	河野 仁志	北海道 和田精密歯研株式会社
フード・プロセッサ	山本 巧	愛知県 トヨタルプス株式会社
フード・プロセッサ	鈴木 誉	三重県 日東ひまわり亀山株式会社
フード・プロセッサ	松本 勇斗	佐賀県 障がい者ビジネススクールユニカレさが
データベース	手島 拓身	東京都 株式会社日立ハイテクサポート
ホームページ	竹澤香菜子	東京都 大東コーポレートサービス株式会社
フラワーアレンジメント	田村 直美	東京都 東急リバブルスタッフ株式会社
コンピュータグラフィクス	中本 真司	広島県 広島障害者職業能力開発校
ビルクリーニング	ドイハラナツミ	群馬県 群馬県立伊勢崎高等特別支援学校
ビルクリーニング	緑川 佐助	東京都 太平ビルサービス株式会社 東京支店
ビルクリーニング	幸山 一樹	神奈川県 株式会社日立ゆうあんどあい
製品パッキング	小野 竜汰	宮城県 セコム工業株式会社
製品パッキング	宇野 智貴	岐阜県 株式会社OKBパートナーズ
製品パッキング	青木 和貴	滋賀県 合同会社iiaifail
喫茶サービス	佐々木由美子	岩手県 株式会社一歩 カフェアンパス
喫茶サービス	新田 月渚	広島県 マツダ株式会社
喫茶サービス	小和田竜央	宮城県 東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社
オフィスアシスタント	山崎 權	静岡県 静岡県立あしたか職業訓練校
表計算	安見 俊輔	東京都 クボタインフルージョンワークス株式会社
表計算	坂本 大知	熊本県 障がい者IT職業訓練センター
ネイル施術	池田 衣里	東京都 株式会社JALサンライト
写真撮影	清水 武志	千葉県 株式会社舞浜コーポレーション
パソコン組立	三宅 勝己	神奈川県 富士ソフト企画株式会社
パソコン組立	柳 綺佳	山口県 株式会社宇部情報システム
パソコン組立	徳野 泰聖	福岡県 サンアカアットO株式会社
縫製	黒澤 智優	茨城県 茨城県立水戸高等特別支援学校
縫製	小島 紅彩	愛知県 愛三工業株式会社
木工	坂尾 麻奈	茨城県 茨城県立水戸高等特別支援学校

金賞

DTP	佐山いせ子	長野県 社会福祉法人ながのコロニー長野福祉工場
機械CAD	篠 孝忠	愛知県 株式会社タマディック
電子機器組立	小西 将矢	愛知県 株式会社デンソー
義肢	吉原 晃一	長崎県 株式会社長崎かなえ
歯科技工	土持 龍人	東京都 株式会社ファーストデンタル
フード・プロセッサ	岡出慎之介	東京都 東京海上ビジネスサポート株式会社
データベース	米田 涼子	福岡県
ビルクリーニング	高橋 里実	福岡県 福岡県立福岡南特別支援学校
製品パッキング	勾坂まどか	愛知県 中電ウイング株式会社
喫茶サービス	細井 日菜	東京都 株式会社JALサンライト
表計算	西本康次郎	富山県 株式会社日本オープンシステムズ
ネイル施術	板倉 令奈	沖縄県 就労支援事業所ひまわり
写真撮影	日高 有彩	鹿児島県 SHIRAYAMA HOTEL Kagoshima
パソコン組立	柿木 徹夫	栃木県 レンゴー株式会社小山工場
パソコン組立	石井 郁光	奈良県
木工	福島 大樹	岩手県 株式会社青木家具製作所

愛知県国際展示場（愛知県常滑市）において、2024（令和6）年11月22日（金）から24日（日）までの3日間にわたり開催した「第44回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）」。

今大会は、全25種目の技能競技に47都道府県から398人の選手が集い、日ごろつちかった技能を競い合うとともに、障害者ワークフェアも開催し、多数の来場者を迎え盛大な大会となりました。

今大会の入賞者を以下の通り決定し、11月24日（日）の閉会式において、金賞16人、銀賞33人、銅賞36人、努力賞20人の方々に
に対し表彰を行いました。

努力賞

洋裁	松本 弥生	愛媛県	熊本県
DTP	井門 明日香	愛媛県	セキ株式会社
電子機器組立	小川 高輝	岡山県	パナソニック吉備株式会社
歯科技工	高梨 理来	東京都	鶴見大学歯学部歯科技工研修科
フード・プロセッサ	野村 真以	岐阜県	クラレプラスチックス株式会社
ホームページ	鬼頭 成徒	愛知県	トヨタルプス株式会社
ホームページ	上間 真弓	沖縄県	株式会社Compass
フラワーアレンジメント	兵頭 麻耶	愛媛県	大東建設株式会社 松山支社
ビルクリーニング	松本 萌雅	岐阜県	岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校
製品パッキング	人見 光輝	栃木県	株式会社資生堂 那須工場
製茶サービス	石原 武丸	大阪府	クボタインクルージョンワークス株式会社
喫茶サービス	松尾 美木	群馬県	群馬県立伊勢崎高等特別支援学校
表計算	佐藤 俊	青森県	げんねんワークサポート株式会社
ネイル施術	河村 愛未	愛知県	
写真撮影	五十嵐 英紀	広島県	Ripple Nail salon
パソコン組立	島田 静香	北海道	株式会社旭化成アビリティ
パソコン操作	中村 知美	大阪府	カナデビア株式会社
パソコンデータ入力	渡邊 蓮	静岡県	テルモ株式会社 富士工場

銅賞

洋裁	村山 真由美	鹿児島県	鹿児島障害者職業能力開発校
家具	田中 匠貴	長崎県	NS長崎船舶整備株式会社 生産部 長崎工場
DTP	政所 明日香	大阪府	クボタインクルージョンワークス株式会社
電子機器組立	松下 健	茨城県	株式会社日立ビルシステム
電子機器組立	山本 齊	三重県	株式会社デンソー 大安製作所
歯科技工	岡田 拓海	千葉県	株式会社協和デンタル・ラボラトリー新松戸
フード・プロセッサ	尾野 多恵	岩手県	株式会社岩手銀行
フード・プロセッサ	石原 慎也	兵庫県	日本パソネルセンター株式会社
データベース	若井 与一	千葉県	株式会社千葉データセンター
ホームページ	竹田 久美	神奈川県	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院
フラワーアレンジメント	黒岩 佳叶	長野県	長野県須坂創成高等学校
フラワーアレンジメント	高橋 璃沙	岐阜県	アピパートナーズいび
フラワーアレンジメント	兼松 利江	静岡県	U-Tハートフル株式会社 船橋オフィス
コンピュータグラフィックス	稲葉 洋介	東京都	東京都ビジネスサービス株式会社
ビルクリーニング	青木 真奈	愛知県	コンックス株式会社
ビルクリーニング	船越 唯愛	京都府	三菱自動車ウイング株式会社
ビルクリーニング	桧山 飛鳥	愛媛県	ミウラジヨパートナー株式会社
製品パッキング	金山 達志	東京都	株式会社バンダイナムコワイル
製茶サービス	吉田 綾音	千葉県	株式会社ライフコーポレーション
喫茶サービス	坪田 史央	兵庫県	日本パソネルセンター株式会社
表計算	渡邊 宏一	神奈川県	就労移行支援事業所Kaizen川崎
表計算	天野 寛隆	愛知県	愛知玉野情報システム株式会社
表計算	松永 聖矢	佐賀県	障がい者ビジネススクールユニカレさが
ネイル施術	林崎 沙也佳	岩手県	株式会社はちのへ東奥朝日ソリューション
写真撮影	岩田 怜奈	愛知県	トヨタルプス株式会社
写真撮影	岩田 怜奈	愛知県	トヨタルプス株式会社
パソコン組立	新家 克博	石川県	小松市役所 スマートシティ推進課
パソコン操作	藤戸 雅也	岩手県	岩手県庁 ふるさと振興部調査統計課
パソコンデータ入力	棚村 健人	東京都	株式会社ベネッセビジネスメイト
パソコンデータ入力	金田 悠輝	京都府	株式会社うさかめ
縫製	西岡 愛織	滋賀県	日東ひまわり亀山株式会社 滋賀事業所
木工	田中 一	滋賀県	滋賀県立長浜北星高等養護学校

「アビリンピック」についてご紹介!

今年度で44回目の開催となった全国アビリンピック。本誌でも毎年特集号をお届けしていますが、「アビリンピック」についてみなさまはどんなことをご存知でしょうか。

そこで今号では、全国アビリンピックの歴史や国際アビリンピックなどについて深掘りしていきます。

アビリンピック(障害者技能競技大会)



名称

大会の正式な名称は「障害者技能競技大会」ですが、親しみやすいものとするため、愛称として「アビリンピック」を使っています。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY: 能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたものです。



目的

障害のある方々が日ごろつちかった技能を互いに競い合うことを通じて、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の障害者雇用に対する理解を深め、その雇用を促進することを目的として開催しています。

WE ARE THE STARS.

シンボルマーク

大会を象徴するシンボルマークは、故岡本太郎氏にお願いをしてつくっていただいたものです。月桂樹の葉と人間を形どったこのシンボルマークは、強く自分を切り開いてゆく人間像を表しています。



全国アビリンピックの歴史



全国アビリンピックは、1964(昭和39)年に開催された東京パラリンピックを参考に企画され、第1回大会は1972年11月に千葉県千葉市において、当時の皇太子同妃両殿下を開会式および閉会式にお迎えして、開催されました。大会は旋盤や洋裁、広告美術やラジオ・テレビ修理など、15種目の競技に36都道府県から133人の選手が参加して開催されました。

第1回大会から第25回大会まで千葉県を舞台として開催してきましたが、第26回大会(平成14年)より、全国的に障害者の雇用促進に関する気運を盛り上げるため、技能五輪全国大会と同時または同時期に、全国各地で開催するようになり、今回で44回目を迎えました。

アビリンピック マスコットキャラクター

アビリス

「星」をモチーフに、「障害を乗り越える士気」、「受賞の歓喜」、「能力の開花」をイメージしてデザイン。

名前の「アビリス」は、「アビリンピック」の語感と、「幸せを運んでくれる」という花言葉を持つラン科の花「マキシラリア・パリアビリス」にちなんで命名されました。



かわぐち ひろし
作者 川口 博司 さん

東京都在住。
国立職業リハビリテーションセンターを修了後、デザイナー、Web系エンジニアとして活躍。

国際アビリンピック (International Abilympics)



国際アビリンピック (IA) は、1981 年の国際障害者年を記念し、当時の皇太子殿下を名誉総裁に推戴し、日本 (東京) で第 1 回大会が開催されました。以来、コロンビア、香港、オーストラリア、チェコ、インド、日本、韓国、フランスと、おむおね 4 年に 1 度開催されています。

2023 (令和 5) 年 3 月に、フランス共和国メッス市で開催された第 10 回大会では、日本を含めた 27 カ国・地域から 329 名の選手が参加し、44 種目の技能競技が行われました。



第10回国際アビリンピック／
チームジャパンの挑戦
Youtubeにて公開中

国際アビリンピック開催状況



大会回数	開催時期	開催国・地域	参加国・地域	参加者数	日本選手数	日本選手成績		
						金賞	銀賞	銅賞
第 1 回	1981 年 10 月	日本 (東京)	56	841 人	103 人	11 人	12 人	8 人
第 2 回	1985 年 10 月	コロンビア (ボゴタ)	54	987 人	14 人	3 人	—	—
第 3 回	1991 年 8 月	香港	83	2,000 人	62 人	2 人	3 人	7 人
第 4 回	1995 年 9 月	オーストラリア (パース)	32	1,000 人	42 人	2 人	3 人	2 人
第 5 回	2000 年 8 月	チェコ (プラハ)	29	1,137 人	36 人	—	2 人	4 人
第 6 回	2003 年 11 月	インド (ニューデリー)	33	1,116 人	25 人	—	2 人	1 人
第 7 回	2007 年 11 月	日本 (静岡)	34	910 人	93 人	11 人	17 人	14 人
第 8 回	2011 年 9 月	韓国 (ソウル)	52	1,533 人	31 人	2 人	4 人	7 人
第 9 回	2016 年 3 月	フランス (ボルドー)	31	1,300 人	31 人	2 人	3 人	5 人
第 10 回	2023 年 3 月	フランス (メッス)	27	994 人	30 人	1 人	4 人	3 人

第11回 国際アビリンピック ヘルシンキ大会



開催概要 (予定)

- 大会日程** 2027年5月10日～14日(予定)
- 大会会場** メスケスクスコンベンションセンター
- 開催種目数** 42種目(予定)
- 主催** スキルズフィンランド他

※大会概要は調整中であり、2年前(2025年)を目処に公表される予定です。
※2025年の第45回全国アビリンピックにおいて派遣選手選考会を実施します。



マリア・エクロス スキルズフィンランド CEO



私たち主催者は、2027 年フィンランド・ヘルシンキで開催する第 11 回国際アビリンピック (IA) へのみなさまの参加を歓迎します。

開催都市ヘルシンキは、美しい島々と森林に囲まれ、かつ、アクセシビリティに配慮し安全・清潔に整備されたコンパクトな首都です。

IA は過去に技能競技大会を開催してきた国内最大のイベント会場で開催され、そこでは新しい IA のコンセプトも導入されるでしょう。私たちは技能競技大会の開催経験と知識そして幅広いスキルのネットワークを活かし、参加者に質の高い競技大会を提供するのみならず、すべての来場者に、実用的かつ思い出に残る体験を提供できるよう取り組んでいきます。

2027 年、ヘルシンキでみなさまをお待ちしています。



新たに開発した支援技法を ご紹介します

障害者職業総合センター 職業センター

障害者職業総合センター職業センターでは、発達障害者、高次脳機能障害者および精神障害者それぞれの障害特性や事業主のニーズに応じた新たな職業リハビリテーション技法の開発と改良を行っています。

また、その成果を実践報告書、支援マニュアルに取りまとめて、幅広く普及を図っています。

令和6年度は、以下の三つの技法開発に取り組み、支援マニュアル等に取りまとめたので、概要をご紹介します。

※各支援マニュアル等は令和7年3月の発行を予定しています。

これまでの成果物の詳細は、ホームページをご参照ください。

<https://www.nivr.jeed.go.jp/center/index.html>



発達障害者の障害特性を踏まえた 相談の進め方



令和6年度は、発達障害者の特性を踏まえた相談の進め方をテーマに技法開発に取り組みました。

発達障害者の自己理解を深めるためには自ら経験をふり返り、気づきを得ることが大切であり、支援者はそのふり返りを適切にサポートすることが求められています。

そのため、発達障害者との相談におけるポイントを、「相談の構造化」、「相談で活用できる支援ツールの整理」、「支援者の相談スキルのふり返り」としてまとめました。

付録では、相談場面でよく遭遇する場面を取りあげ、「対応のヒント集」、「相談で活用できる各種支援ツール」を一部紹介しています。

職場復帰に向けた調整のための 効果的なアセスメントの実施方法



令和6年度は、うつ病などで休職している方の職場復帰支援に向けた調整を効果的に行うためのアセスメントの実施方法について検討しました。

職場復帰支援では、休職者・事業主・主治医の三者から必要な情報を把握したうえで、職場復帰に向けた取組課題や目標についての共通認識を形成することが大切です。

そこで、今回は職場復帰支援において、休職者と事業主が職場復帰に向けた情報の整理・共有にもとづいて合意形成を行う際のポイントや、合意形成後の円滑な支援や調整につなげるための支援ツールとして「情報共有シート（2024版）」、「復職に向けた行程整理シート（2024版）」等を作成し、実践報告書として取りまとめました。

高次脳機能障害者の自己理解を進めるための 支援技法の開発



令和6年度は、高次脳機能障害者の「自己理解を進める」ための支援について検討しました。

高次脳機能障害者の自己理解を進めるためのアプローチは、認知機能の低下等も含め、個々の状況に応じて支援方法を検討することが大切です。

そこで、今回は高次脳機能障害者自身の目標にしたいことや関心のあること、できていることに目を向けるアプローチを検討し、実践しました。

「キャリア講習の改良（高次脳機能障害者版）」、「作業を進める工夫の検討シート」の作成や、個別相談やメンバー同士の意見交換などを活用したふり返りの工夫など、職業センターのプログラムで実践したこと、活用したツール、工夫点や留意点などを実践報告書に取りまとめました。

<お問合せ>

障害者職業総合センター職業センター 企画課 TEL：043-297-9043

「読者アンケート」結果発表!! ご協力いただきありがとうございました

日ごろより『働く広場』をご愛読いただき、ありがとうございます。今年度実施した読者アンケートでは、みなさまから多数のご意見・ご要望をいただきました。心よりお礼申し上げます。今号では、読者アンケートの結果の一部をご紹介します。今後の企画・編集の貴重な資料として活用させていただき、よりよい誌面づくりに努めてまいりますので、引き続きのご愛読をよろしくお願いいたします。

本誌に対する評価

- ・「非常に参考になる」、「参考になる」と、87.9%の方から高い評価をいただきました。その理由として、「支援の方法や対応、担当者のお話、指導育成法が参考になる」、「いろいろ事例が豊富にあるから」などのご意見がありました。
- ・「参考になったコーナー」は、「職場ルポ」、「編集委員が行く」、「グラビア」、「研究開発レポート」の順で回答が多く寄せられました。

参考になったコーナーとその理由

【職場ルポ】

- ・コミュニケーションの取り方、かかわり方、各々の会社で工夫されている点、作業内容、職場定着の工夫、特性に応じた分業、支援の内容、作業の切り出し、具体的な働き方、接し方、現場の実態が参考になる。
- ・一人ひとりが活躍していること、温かいサポートが具体的に伝わる内容だったから。

【編集委員が行く】

- ・足を使って取材された生の声を多く記事に盛り込んでおられる点がたいへん参考になった。
- ・職業能力開発校の存在、また発達障害者や精神障害者の職業訓練に重要な役割を果たしていることを知ることができた。

【グラビア】

- ・実際に働いている様子が写真でわかりやすく解説されていた。

【研究開発レポート】

- ・直近の必要な情報を知れたり、今後必要になりそうなツールを知ることができるから。

さらに充実を図ってほしいコーナーとその理由

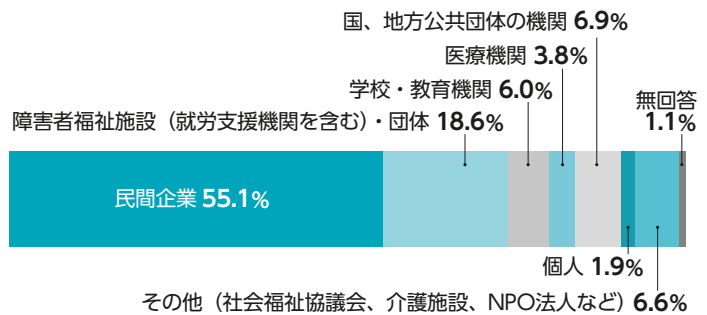
【職場ルポ】

- ・支援ツールが説明と写真で紹介されていたのがとてもわかりやすい。これからも写真を多く取り入れていただけるとうれしいです。

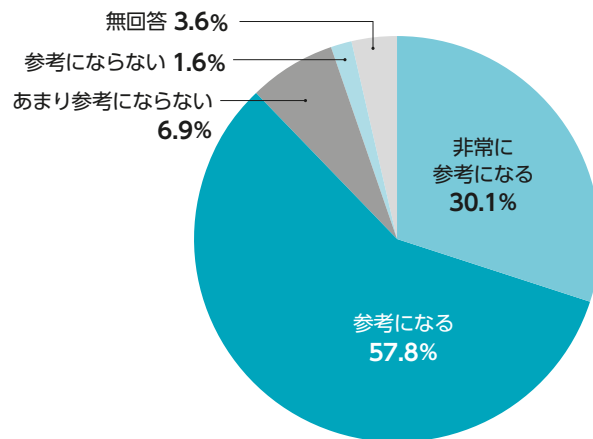
【編集委員が行く】

- ・生の声をうまく反映しているため、今後もいろいろ読んでみたい。

【回答者の所属先】



【「働く広場」は参考になっていますか】



（アンケート調査実施期間：通年、集計期間：2023年10月1日～2024年9月30日）

今後取り上げてほしい内容、ご意見・ご要望

- ・精神障害や発達障害に関する医学的または学術的な記事があるとうれしいと思います。
- ・法改正や制度について深掘りしてほしい。
- ・成功事例や失敗事例など、いろいろな企業が実際に体験した事例を載せてほしい。
- ・企業だけでなく、就労移行支援事業所など多様な視点からの取材を希望します。
- ・障害者から見た働きやすい職場とはどういったところか。

今年度本誌で取り上げた内容については、28～29ページの「記事索引」をご覧ください。
また、興味・関心のあるテーマについては、JEEDホームページに掲載しているバックナンバーもご覧ください。

<https://www.jeed.go.jp/disability/data/works/backnumber.html>

働く広場 バックナンバー

検索



誰一人取り残さない防災とは？

第4回

個々の脆弱性に応じた衡平性原理

同志社大学社会学部教授

立木茂雄



立木茂雄（たつきしげお）

1955（昭和30）年兵庫県生まれ。1978年関西学院大学社会学部卒。同社会学部研究科修士課程修了後、1980年よりカナダ政府給費留学生としてトロント大学大学院に留学。MSW（マスター・オブ・ソーシャルワーク）ならびにPh.D.（ドクター・オブ・フィロソフィー）修得。1986年より関西学院大学社会学部専任講師・助教授・教授を経て2001（平成13）年4月より現職。

専門は福祉防災学・家族研究・市民社会論。特に大災害からの長期的な生活復興過程の解明や、災害時の要配慮者支援のあり方など、社会現象としての災害に対する防災学を研究。

おもな著書に『災害と復興の社会学（増補版）』（明書房、2022年）などがある。

脆弱性に応じた衡平性原理——被災者支援に合理的配慮を求めて

防災の現場では、命を守るためにすべての住民を一律に扱う「平等性（equality）」が重視されてきた。戦後の日本社会では「絶対的平等」が社会の基盤として必須であったが、現代社会ではその限界が浮き彫りになっている。個々の社会的脆弱性に応じた支援、つまり「合理的配慮」の提供が求められている。これを支えるのが「衡平性（equity）」という考え方だ。

災害が拡大させる格差——住まい再建速度にみる現実

災害は被災前から存在する不平等や格差をさらに拡大させる。東日本大震災の被災地である宮城県名取市と仙台市における「住まい再建速度」を世帯規模別に示したグラフが、その実態を浮き彫りにする（図1参照）。いずれの地域でも世帯規模が大きいほど再建が迅速だったのに対し、単身世帯では再建が著しく遅れ

ていた。

さらに、世帯主のジェンダーによる違いも顕著だ（図2参照）。所得や就業形態によるジェンダー格差が、災害後の住まい再建にも大きな影響を及ぼしていた。

仙台市の変革——災害ケースマネジメントの導入

しかし、仙台市では2015（平成27）年4月をさかいに再建格差が急速に縮小していることが注目される。同市では2014年から配慮を必要とする世帯への生活再建推進プログラムを実施し、翌年から「災害ケースマネジメント」を柱とする生活再建加速プログラムを開始。従来の申請主義を脱し、生活再建に必要な資源やサービスを個々の被災者のニーズに応じてマッチングする伴走支援の仕組みを構築した。

その効果は明らかだ。仙台市の仮設住宅入居率の減少速度を、災害ケースマネジメントを導入しなかった場合のシミュレーションと比較すると、実際の仙台市

の減少速度がはるかに速いことが確認された。この取組みにより、仮設住宅から恒久住宅への移行が大きく前進した。

合理的配慮がもたらす支援の未来

仙台市の成功の鍵は、被災者一人ひとりの多様なニーズ——健康、職業、住環境、地域とのつながり——に応じた合理的配慮を提供した点にある。災害ケースマネジメントは、単に被災者を一律平等に扱うのではなく、各人の状況に寄り添い、最適な支援をタイムリーに提供する仕組みだ。

この取組みは、支援のあり方を見直す大きな一歩となった。被災地での格差を縮小し、生活再建を後押しする「衡平性原理」に基づいた支援モデルは、今後の防災・復興の現場で欠かせない指針となるだろう。仙台市の実践が示したように、多様性に応じた合理的配慮が、より公平な社会の構築へと道を開いていく。

図2 世帯主のジェンダー別住まい再建速度の比較：名取市と仙台市

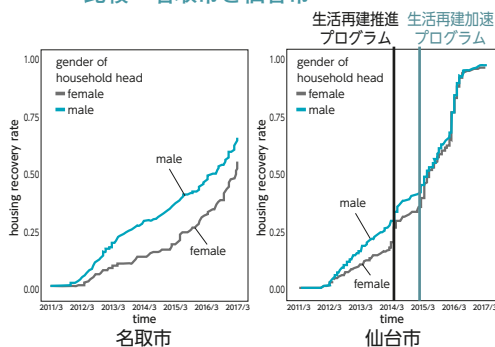
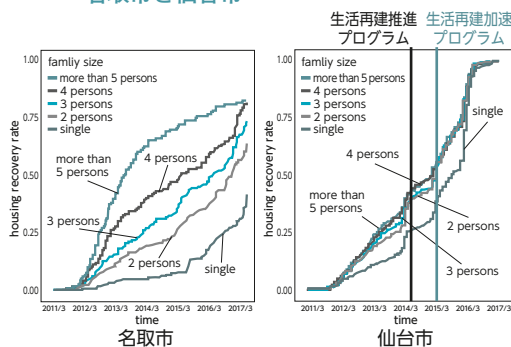


図1 世帯規模別住まい再建速度の比較：名取市と仙台市



出典：Tatsuki, S., & Kawami, F. Longitudinal impacts of pre-existing inequalities and social environmental changes on life recovery: Results of the 1995 Kobe Earthquake and the 2011 Great East Japan Earthquake recovery studies. *International Journal of Mass Emergencies & Disasters*, 41(1), <https://doi.org/10.1177/02807270231171504>

企業のみなさまにおすすめするマニュアルのご紹介

～法定雇用率の引上げや「雇用の質」の向上に向けて～

障害者職業総合センター 研究部門

障害者雇用をめぐるのは、2022（令和4）年に改正された障害者雇用促進法が順次施行され、法定雇用率が段階的に引き上げられるとともに、2025年4月から除外率が10ポイント引き下げられる予定です。企業のみなさまにおいては、障害者雇用のよりいっそうの推進とあわせて、多様な就労ニーズへの対応や、雇用の質の向上に向けた取組みの充実が求められています。

このような状況のなかで、障害者職業総合センター研究部門では、研究成果を活用して、障害者の雇用管理に役立つ各種マニュアルを作成し、事業主や支援機関等のみなさまに対して無料で提供をしております。今回は、最新の研究成果を基に2024年に刊行したマニュアル等や、2021年に刊行した除外率設定業種における障害者雇用事例集をご紹介します。

ご紹介する各マニュアルは、障害者職業総合センター（NIVR）ホームページよりダウンロードが可能です。

また、在庫のあるものについては、無料[※]でご提供可能ですので、ご希望の方は右記お問合せ先までご連絡ください。

[※]部数によっては送料をご負担いただく場合がございます。

お問合せ先

障害者職業総合センター
研究企画部企画調整室
電話：043-297-9067
メール：kikakubu@jeed.go.jp

1 障害者の職務設定、職務創出・再設計のためのデータブック（2024年刊行）



キーワード

職務の切り出し、職務設定、職務創出、職務再設計、職域拡大

概要

1万5000事業所を対象に実施したアンケート調査に協力を得られた2734事業所からの回答結果に基づき、障害者の従事する具体的な職務内容を251の「課業等」に分類・整理して、産業別および障害種別に集計を行ったデータブックです。

活用のポイント

- ・事業所や支援機関において、障害者の職務設定、職務創出・再設計について検討する際の参考として活用できます。
- ・障害者のスキルアップのための職域拡大の検討やキャリア形成の促進など、障害特性や希望に応じて能力や適性を発揮し活躍できるようにする「雇用の質」向上の取組みの参考として活用できます。

「障害者の職務設定、職務創出・再設計のためのデータブック」は、下記ホームページからご覧ください。
<https://www.nivr.jeed.go.jp/research/kyouzai/kyouzai81.html>



★データブックの効果的な活用に向けて

(1) 課業等の「件数」の視点

本データブックでは、障害者が従事する課業等として件数の多いものをリストアップしています。このため、件数の多い課業等は、「多くの事業所、部署、障害者で同様の例がある」と考えられ、モデルが多いことから、職務設定、職務創出・再設計の参考となり得るものと思われま

(2) 課業等の「種類」の視点

本データブックでは、251の多種・多様な課業等のうち、全体の上位100種、障害種別および産業別の上位30種、障害種別×産業別でのクロス集計結果の上位10種をリストアップしています。このため、産業別や障害種別の枠を超えて、障害者が従事している課業等としてどのようなものがあるか、これまで検討していなかった視点から職務創出等の新たな可能性を横断的に探る一助にもなり得ると考えます。

(3) 本データブック活用に

あたつての留意点

本データブックは、障害者が具体的にどのような職務に従事する機会があるかを示している一方で、各職務の頻度、時間数、労力の割合等をどのように組み合わせる障害者の職務を構築しているかまでは把握しておらず、回答をいただいた障害者がたずさわる（たずさわっていた）具体的な職務内容に従事する障害者の人数は、各事業所で異なります。

また、障害者の従事する職務内容を整理した各課業等の件数についても、課業等としての望ましさや適切さに比例するものではなく、件数が少ない課業等であっても、障害者が持てる力を存分に発揮している可能性も十分考えられます。

このように、本データブックの内容は、あくまで障害者がどのような課業等にたずさわる機会があるかを例示したものであることにご留意のうえ、ご利用ください。

関連する研究成果

調査研究報告書No.176「障害者の雇用の実態等に関する調査研究」(※1)

No.	課業等	主な回答例	件数	No.	課業等	主な回答例	件数
1	データ入力	データ入力、PCの入力、伝票入力	1,520	51	医師	医師業務、診療業務、手術	71
2	書類の整理・管理	ファイリング、スキャニング(PDF化)、日報管理	1,201	52	管理者	部下の管理監督、管理職、責任者	69
3	清掃	店舗清掃、応接室の清掃、社内清掃業務	1,190	53	データ処理	データ処理、データ整理、Excelでのマクロ作成	69
4	事務	事務職、一般事務、事務全般	1,141	54	SE・プログラマー	システムエンジニア(SE)、プログラマー	67
5	文書等発受	郵便物の回収・仕分け・配布、封入、ラベル貼り	568	55	企画	企画運営、企画業務、行事企画	67
6	コピー・印刷	書類・資料のコピー、印刷	531	56	図書・資料(室)業務	図書配架、図書整理、図書の貸出	65
7	電話・受付業務	コールセンター業務、受付・案内業務、電話応対	529	57	技術職	技術業務、生産技術、エンジニア業務	62
8	書類・資料の作成	DM、名刺等作成、会議資料作成、POP作成	499	58	保険業務	保険請求業務、保険に関する一般業務、保険金の支払い業務	62
9	製造・加工・組立	製造作業、ライン加工、部品の組立	438	59	器具等洗浄	医療器材の洗浄・滅菌、コンテナ清掃、ビール樽洗浄作業	59
10	会計事務	経理、会計、入出金処理	252	60	データ集計	データ集計、エクセルを使った集計、統計作業	55
11	事務補助	事務補助業務、事務サポート	251	61	鍼灸・マッサージ	あん摩マッサージ、鍼灸師、ヘルスケア	53
12	教育	教員、大学教員、授業	247	62	品質管理・保証	品質管理チェック、品質保証、品質検査業務	51
13	備品等物管理	コピー用紙の管理・補充、消耗品補充、備品管理	236	63	整理	荷物の整理、物の整理、後片付けの手伝い	49
14	品出し	商品陳列、品出し、商品整理	204	64	ごみ処理	ごみの収集・分別、ごみ出し、資源ごみの回収	48
15	庶務・総務	一般庶務、総務業務、庶務業務全般	197	65	在庫管理	在庫管理、部品の在庫管理、商品管理	47
16	梱包・包装	梱包、バック詰め、商品袋詰め	190	66	ピッキング	商品のピッキング、部品のピッキング、材料ピッキング	46
17	洗濯・リネン	クリーニング、リネンの仕分け、洗濯業務	179	67	消毒	館内消毒、手すり等の消毒作業、おもちゃの消毒	41
18	試験・検査・実験・解析	各種試験・実験、製品検査、分析作業	177	68	生産管理	生産管理、工程管理、生産する製品の進捗管理	41
19	仕分け	仕分け作業、商品の仕分け、製品仕分け	176	69	指導・訓練	トレーニング業務、人材育成・指導、後援職員の手導係	37
20	研究	研究業務、研究職、論文作成	172	70	選別	野菜の選別作業、市場の魚の選別等、中古本のネット販売業務(選別)	36
21	システム開発	システム開発、技術開発、ソフトウェア開発	151	71	PC業務	PC作業、RPA操作、PCのセットアップ	34
22	介護	介護職、介護補助、入浴介助	144	72	オペレーター	製造オペレーター、組み立てオペレーター、工場オペレーション	33
23	調理	社員食堂での調理、後援作業、調理補助	138	73	検品	商品検品、不良品の選別、商品チェック作業	33
24	施設・環境の整備・保全	常駐業務、環境整備、施設の点検	137	74	ベッドメイク	ベッドメイク(ホテル、介護施設)、シーツはがし	32
25	連絡・調整	作業スケジュール管理、社内部門調整、メール連絡	134	75	薬剤師	薬剤師業務(調剤、処方指導等)、薬剤師の補助業務	30
26	システム管理	システム管理・運用、システムの保守	132	76	臨床検査技師	臨床検査技師業務全般	29
27	その他の雑務	シール貼り、後片付けの手伝い、工場内での雑務	131	77	HPの運営・管理	ホームページ更新・管理、ホームページの作成・修正	28
28	運転	タクシー業務員、送迎ドライバー、フォークリフト操作	130	78	洗車	レンタカー洗車、自動車清掃、洗車、カード洗車	28
29	荷受け・出荷	荷受け、出荷準備・処理、荷物の積み下ろし	123	79	梱付け	梱付け、梱札づけ、売り場での価格変更作業	27
30	看護師	看護師、看護業務	119	80	施工管理	施工管理業務、工事管理関連業務	27
31	農作業	収穫、農園作業、野菜の栽培	114	81	施設等の受付	フロント、入館受付、空港における旅客サービス業務(補乗手続支援)	26
32	人事労務管理	給与計算、勤怠管理、人事業務	112	82	CAD	CADのオペレーション、CADを使用した図面作成	26
33	食品加工・食品製造	野菜の皮むき、野菜のカット、パン・和洋菓子の製造	111	83	飼育	動物の世話、飼育、餌やり	26
34	業務の管理・監督	現場監督業務、マネジメント業務、現場作業管理	108	84	建築・建設	建設現場作業員、大工職、施工	24
35	配達・配送	配達、郵便物の配達、集荷・配達の助手	103	85	理学療法士	理学療法士、患者さんへのリハビリ(理学療法)	23
36	資材・備品等の運搬	部品の運搬、商品搬送、資材運び	101	86	金融業務	融資業務、預貯金調査、金融事務	22
37	データ管理	データ管理、顧客データ管理、社員データ管理	101	87	商品管理	社内店舗での商品管理、販売職(商品管理)	22
38	書類・データのチェック	書類チェック、データ確認、読み合わせ	100	88	IT業務	ITエンジニア、IT業務全般、IT推進業務	22
39	営業	営業職、外勤営業	99	89	顧客対応	アフターサービス、カスタマーサービス業務、顧客対応	21
40	シュレッダー	シュレッダー、シュレッダー仕分け	99	90	積算	積算業務、積算事務職、図面からの積算数量出し出し	21
41	設計・製図	自動車・部品設計、機械設計、図面作成	98	91	デザイン	印刷物のデザイン及び作成、販売ツールのデザイン、年賀状作成(イラスト作成)	20
42	看護補助	看護補助、看護師のサポート、病棟内における看護の補助	92	92	押印	社名ゴム印の押印、印鑑裏の病院名や医師名の押印	20
43	販売	店舗スタッフ、レジ業務、郵便窓口での販売	91	93	リサイクル	リサイクル回収、リサイクル事業、リサイクルの仕分け	19
44	緑化・園芸	除草作業、庭の水まき作業、園芸作業	89	94	マンション等管理人	マンションの管理人、検身者の管理業務、ビル管理業務	19
45	機械・設備の整備	機械メンテナンス、社用車の点検、装置点検	87	95	広報	広報業務、広報活動、展示物貼替え	19
46	食器洗浄	皿洗ひ、病院・企業の厨房内での洗浄、食器洗浄	83	96	配布	会社内配布物の交付、資料配布、書類配布	19
47	受注・発注	商品発注、消耗品等の発注、事務用品発注	81	97	編集	編集業務、紙面レイアウト、新聞製作	19
48	会議・研修会の運営	会議の運営・進行、設備・仕掛け、研修運営補助	79	98	納品	納品作業、納品業務	17
49	警備	施設の警備・巡回、駐車場の誘導・交通整理、守衛	79	99	画像・映像制作	画像作成、動画編集、教育用資料の映像編集	17
50	接客	接客、お客様の案内、店舗での接客	76	100	労務作業	検定業務(院内各種労務作業)、労務業務、労務作業	17

障害者が従事する課業等(上位100種)

※1 <https://www.nivr.jeed.go.jp/research/report/houkoku/houkoku176.html>



2 デジタル技術を活用した 障害者の業務の状況と具体例 (2024年刊行)



キーワード

デジタル技術、障害者の業務、障害者の
職域変化、障害者雇用、デジタル化の推進

概要

デジタル化の進展にともなう今後の障害者雇用への影響について、企業を対象としたアンケート調査によると、約4割の企業がプラスの影響があると考えていることがわかりました。障害のある社員の業務におけるデジタル化の影響として、企業は、障害者の業務の効率性・正確性が向上した、障害者が従事できる業務の種類・量が増加した、などのメリットを感じていることがわかっています。

本リーフレットでは、サービス業、製造業、医療・福祉、小売業などの幅広い業種における、デジタル技術を活用した8種類の業務の内容を紹介しています。

活用のポイント

- ・企業において、①デジタル技術を活用した仕事を障害者の新たな職域として検討する、②デジタル技術を活用した職業能力の開発・向上を図るなど、障害特性や希望に応じて能力や適性を発揮し活躍できるようにする「雇用の質」向上の取組みの参考として活用できます。
- ・障害者の就労支援機関において、求職活動支援や事業主支援の参考として活用できます。

関連する研究成果

調査研究報告書No.177「AI等の技術進展に伴う障害者の職域変化等に関する調査研究」

(※2)

① デジタル技術を活用した新しい仕事（問題解決や複雑なコミュニケーションが求められる仕事）

業務アプリ開発

近年、比較的簡単なコーディングで様々な業務アプリケーションを作ることができるツールが浸透しつつあります。
A社（その他サービス業）では、障害のある社員の中でPCの得意な方が、スキルを活かし社内の業務効率化のシステム開発に携わっています。これまで、採用活動管理・給与情報管理アプリ等を作成しました。開発の際にはプロジェクトチームを立ち上げ、現場社員のアイデアを開きながら行っています。

Webサイトの管理

B社（農業）では、企業サイトや自社商品を販売するためのECサイトの構築・管理に障害のある社員が関わっています。前職でWeb関連の業務経験はありましたが、プランクがあったため、採用後に業務を行いながら独学でスキルアップに励んでいます。通勤の負担を軽減するためにテレワークを導入する、調子を崩した際は早めに上司に相談し休暇を取る等、体調管理も工夫しています。

※その他、システム開発、RPA開発、動画編集、チラシのデザインなどの業務でも障害のある社員が活躍しています。

③ デジタル化の進展以前から障害のある社員が活躍していた仕事（デジタル技術によって仕事内容が変化した仕事）

生産管理

E社（製造業）では、生産管理にタブレット端末を活用しています。生産指示がバーコードで伝達され、それをタブレット端末で読み取って作業を行います。
このタブレット端末に現在の処理状況を入力する作業は、従来管理職である健康者の社員が担当していましたが、近年では障害のある社員による入力作業が進んでいます。タブレット端末の導入により、「字を書くことは難しいがタブレット端末の操作はできる」という方が、生産管理業務の一部に携わることができるようになりました。

ピッキング

F社（運輸業）では、倉庫業務で健康者の社員とともに知的障害のある社員が多く働いています。同社の倉庫ではデジタルピッキングを導入しており、バーコードをセンサーで読み取り、表示された数量と照らし合わせて商品ピッキング作業を行っています。
紙の指示書により作業を行っていた頃と比べ、ミスは大幅に減りました。同社では業務効率化のためのデジタル化が先に進み、障害者雇用は後から拡大した形ですが、元々デジタル化が進んでいたことで障害者の採用を順調に拡大することができました。

※その他、商品管理、郵送の梱包などの業務でも障害のある社員が活躍しています。

② デジタル技術を活用した新しい仕事（比較的手順がはっきりしている仕事）

アノテーション

C社（製造業）では、アノテーション（AIの学習に用いる画像などに情報タグをつける作業）に様々な障害のある社員が関わっています。例えば工場で作られている部品を撮影した大量の画像の中から「良い部品」と「不良品」を見分けてタグをつける。道路の画像に写った動物の種類を判別してタグをつけるなどの作業です。
作業は簡単なものから、画像に写っている物体の輪郭を正確に囲んだりする難しいものまであります。経験のいる作業ですが、通ったときには障害のある社員同士で相談しながら進めています。タグ付けされた画像は画像認識システムなどの最新の技術開発に活用されます。

スキャン業務

D社（製造業）では、在宅勤務・バーバーレス化に伴い、紙の文書をスキャンしてデータ化する業務が増加しました。名刺からA4サイズの図面まで専用のスキャナでスキャンし、データを指定したファイル名をつけるまでの一連の工程を一人で担当しています。PDFファイルの文字認識の最適化や、音声の録音・再生ソフトが苦手な職種の導入等により、現在では他社へ外注した場合と同程度のコストで行えるようになりました。

※その他、データ入力、集計、インターネットを活用した情報収集などの業務でも障害のある社員が活躍しています。データ入力では、帳票OCRが読み取った数値等の確認作業を人が担当することで、入力は不向きでも確認は得意な方が業務に携われるようになった例もあります。

④ デジタル化の進展以前から障害のある社員が活躍していた仕事（一部の作業でデジタル技術を活用している仕事）

調理（作成数の入力）

G社（小売業）では、店舗の厨房で障害のある社員を積極的に採用しています。この企業では、全ての店舗に厨房管理システムが導入されており、調理担当者は厨房の有無にかかわらず、業務の作成個数と作成時刻を店舗のタブレット端末から入力しています。
その他、厨房業務を始める前に行う衛生チェック（健康状態や発熱の有無などの記録）にもタブレット端末が活用されており、紙でチェックを行っていた頃と比べて効率的に行えるようになっているとのこと。

介護補助、清掃（記録の入力）

H社（医療・福祉）では、特別養護老人ホームの食事の配膳や洗濯などの介護補助業務に障害のある職員が関わっています。障害のある職員は通常の介護業務は担当していませんが、PCが操作できる方は介護記録システムを用いて簡単な入力作業を行うことがあります。例えば入浴者の方に声掛けを行い、尿量があったことが確認できたら排泄記録の入力を行ったり、清掃後に清掃の完了報告の入力を行ったりしています。
障害のある職員の中には、介護の経験を愛護し資格を取得した方もおり、今後可能な範囲で直接的な介護業務を担当することを目標としています。

※その他、トラック運転（デジタルタコグラフの利用）やビルの設備管理（点検業務におけるタブレット端末の利用）などの業務でも障害のある社員が活躍しています。

デジタル技術を活用した8種類の業務内容

「デジタル技術を活用した障害者の業務の状況と具体例」は、下記ホームページからご覧ください。
<https://www.nivr.jeed.go.jp/research/kyouzai/kyouzai82.html>



※2 <https://www.nivr.jeed.go.jp/research/report/houkoku/houkoku177.html>



3 除外率設定業種における 障害者雇用事例集 (2021年刊行)



キーワード

障害者雇用率制度における除外率、職場での工夫・配慮、除外率設定業種、障害者雇用事例

概要

- 本事例集には、以下の特徴があります。
- 除外率設定業種の医療、保健、建設、道路貨物運送、道路旅客運送、警備の6業種（7企業）の事例を紹介しています。
- 見開き2ページで1企業を紹介し、キーワードと要約を冒頭に示すことで、ポイントがわかりやすく把握できるよう心がけました。
- 写真もできるかぎり掲載し、職場の様子が伝わるようにしました。

が伝わるようにしました。

それぞれの企業について、企業・事業所の概要、障害者雇用の実情、そして具体的な障害者の雇用事例を可能なかぎり紹介しています。

各職場で行われている工夫や配慮について、とくに詳しく紹介しています。

活用のポイント

一般に就業が困難とされる業種であっても、事業主の配慮を受けながら、多様な障害のある方々が活躍していることを理解できます。事業主、支援者、障害当事者など、多くの方に参考にしていただけます。

関連する研究成果

調査研究報告書No.158「除外率制度の対象業種における障害者雇用に関する実態調査」※3

留意事項

除外率は2025（令和7）年4月に10ポイント引き下げられる予定です。本事例集掲載の除外率および法定雇用率は2021年時点のものであることにご留意ください。

<事例3> 建設業（建設業）

同僚と協力し技術力を生かす！
— 地元密着の建設会社の取り組み —

キーワード

- ① 技術革新が障害者の労働環境改善に寄与
- ② 同僚と協力して安全に作業
- ③ 技術力を評価し活躍を後押し

要約

では、2名の障害のある作業員が10年以上継続して勤務している。いずれも特別な配慮を必要としているわけではなく、同僚と協力しつつ安全に作業を行っている。安全と効率性のために行われている新技術の導入は、障害のある作業員の労働環境の改善にも寄与していると考えられている。

事例紹介

- 企業・事業所の概要
 - 本社所在地：北海道
 - 事業内容：土木工事、建設工事、及び、土工事業
 - 従業員数：約20名（うち16名が対象業種（建設業）に属する。記事掲載の建設業は主に土木工事の作業を担当する。以下「作業員」として記載）
 - 備考：地域に根ざした企業として社会貢献活動に積極的に取り組むほか、働き方改革も積極的に推進している。「北海道建設教育サポート企業」、「北海道地方産業振興企業」として、県庁からの認証を受けている。
- 障害者雇用の状況
 - 障害者雇用数：2名（身体障害）
 - 対象業種の雇用状況と、従事している従業員の状態
 - 建設現場作業で土木作業を担当しており、2名とも10年以上勤務を継続している。同僚と協力しながら、安全に作業を行うことができている。

【Aさんの事例】

Aさんは心臓病の既往があり、建設現場作業を苦手としている。経歴書の記入から始まって同僚に相談し、16年継続して勤務している。

心臓ペースメーカーを付けているが、体への負担は少なく作業を行っている。経験豊富な作業員として、さまざまな現場の業務に携わっている。

【Bさんの事例】

Bさんは下肢障害があり、主に作業員を担当している。この会社に入社してから14年が経過している。

歩行での移動に大きな困難はなく、現場では通常の業務に専念している。同僚からのサポートを受けながら、さまざまな現場の業務に携わっている。

3 障害者雇用にあたり取り組んでいる配慮・工夫

- 作業員を確保するための配慮・工夫
 - 同僚と、工事現場の安全を確保することや、作業の効率化を図るために、様々な技術を導入している。
 - 例えば、GPS機能を用いた作業員管理システムを導入することで、作業現場の把握、工事工程の把握が可能となった。
 - 工事現場に定常カメラを設置する遠隔監視システムにより、休日などに現場に行かずに状況確認ができるようになった。
 - 業務用無線LANシステムは、作業員が持ち運びやすく、作業現場に導入している。業務の効率化を図っている。これは現場の安全性向上にも寄与している。
 - こうした新たな仕組みは、業務のある従業員を支援する対象として導入されているものではない。
 - しかしながら、作業現場における安全性向上と効率化は、結果として障害のある作業員の業務負担を軽減していると考えられている。障害のある作業員が働き続けられる環境として、こうした新技術の導入も効果的である。
- 障害者雇用に関する今後の展望
 - 求められる技術が求められる現場があるという点、同僚の障害者雇用のノウハウと、支援に障害者雇用を継続していることなどが評価され、「北海道建設教育サポート企業」としての認証を受け、そのことをウェブサイトにて表明し、関係機関に協力している。

建設業の雇用事例（情報は2021年3月時点）

「除外率設定業種における障害者雇用事例集」は、下記ホームページからご覧ください。
<https://www.nivr.jeed.go.jp/research/kyouzai/kyouzai72.html>



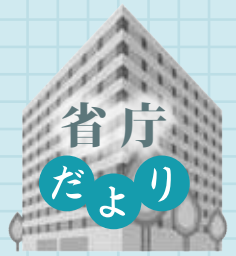
※3 <https://www.nivr.jeed.go.jp/research/report/houkoku/houkoku158.html>



令和6年 障害者雇用状況の集計結果①

(令和6年6月1日)

厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課



厚生労働省では、障害者雇用促進法に基づいて、障害者の雇用義務がある事業主などから、毎年6月1日現在の身体障害者、知的障害者および精神障害者の雇用状況について報告を求めています。令和6年6月1日現在における同報告を集計し、その結果をとりまとめました。その一部を抜粋して、今号と次号にて掲載します。

1 ポイント

2 民間企業における雇用状況

■民間企業（法定雇用率2・5％※令和6年3月までの法定雇用率は2・3％）

○雇用障害者数67万7461・5人、実雇用率2・41％と、ともに過去最高を更新

○法定雇用率達成企業の割合は46・0％、対前年比4・1％低下

■公的機関（法定雇用率2・8％（前年度：2・6％）、都道府県等の教育委員会は2・7％（前年度：2・5％））

○国：雇用障害者数1万428・0人、実雇用率3・07％

○都道府県：雇用障害者数1万1030・5人、実雇用率3・05％

○市町村：雇用障害者数3万7433・5人、実雇用率2・75％

○教育委員会：雇用障害者数1万7719・0人、実雇用率2・43％

■独立行政法人等（法定雇用率2・8％（前年度：2・6％））

○雇用障害者数1万3419・0人、実雇用率2・85％

○雇用されている障害者の数、実雇用率（第1表）

民間企業（常用労働者数が40・0人以上の企業：法定雇用率2・5％）に雇用されている障害者の数は67万7461・5人で、21年連続で過去最高を更新した。

雇用者のうち、身体障害者は36万8949・0人、知的障害者は15万7795・5人、精神障害者は15万717・0人と、いずれも前年より増加し、特に精神障害者の伸び率が大きかった。

実雇用率は、13年連続で過去最高の2・41％、法定雇用率達成企業の割合は46・0％であった。

○企業規模別の状況（第2表）

企業規模別にみると、雇用されている障害者の数は、今年から新たに報告対象となった常用労働者数が40・0～43・5人未満規模の企業では4962・5人であった。また、43・5～100人未満で7万3317・5人、100～300人未満で12万4637・0人、300～500人未満で5万7178・5人、500～1000人未満で7万6515・5人、1000人以上で34万850・5人と、すべての企業規模で前年より増加した。

・実雇用率は、今年から新たに報告対象となった常用労働者数が40・0～43・5人未満規模の企業では2・10％であった。また、43・5～100人未満で1・95％、100～300人未満で2・19％、300～500人未満で2・29％、500～1000人未満で2・48％、1000人以上で2・64％となり、すべての企業規模で前年より増加した。

なお、1000人以上規模の企業は、実雇用率が法定雇用率を上回っている。

・法定雇用率達成企業の割合は、今年から新たに報告対象となった常用労働者数が40・0～43・5人未満規模の企業では33・3％であった。また、43・5～100人未満で45・4％、100～300人未満で49・1％、300～500人未満で41・1％、500～1000人未満で44・3％、1000人以上で54・7％となり、全ての企業規模で前年より低下した。

○産業別の状況（第3表）

産業別にみると、雇用されている障害者の数は、全ての業種で前年よりも増加した。

産業別の実雇用率では、「医療、福祉」（3・19％）が法定雇用率を上回っている。

※本誌では通常西暦で表記していますが、この記事では元号で表記しています

省庁だより

【第1表】民間企業における雇用状況（法定雇用率2.5%）

① 概況

区分	① 企業数	② 法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数 (注1)	③ 障害者の数							④ 実雇用率 F÷② ×100	⑤ 法定雇用率達成企業の数	⑥ 法定雇用率達成企業の割合
			A. 重度身体障害者及び重度知的障害者 (注3)	B. 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である短時間労働者 (注3)	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者 (注3)	D. 重度以外の身体障害者及び知的障害者である短時間労働者 (注3)	E. 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である特定短時間労働者 (注3)	F. 計 A×2+B+C+(D+E) ×0.5 (注2)	G. うち新規雇用分 (注4)			
民間企業	企業 117,239 (108,202)	人 28,162,399.0 (27,523,661.0)	人 130,135 (127,318)	人 54,411 (51,629)	人 336,004 (315,985)	人 39,558 (39,856)	人 13,995 (—)	人 677,461.5 (642,178.0)	人 71,875.5 (63,557.5)	% 2.41 (2.33)	企業 53,875 (54,239)	% 46.0 (50.1)

注1 ②欄の「法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数」とは、常用労働者総数から除外率相当数（身体障害者、知的障害者及び精神障害者が就業することが困難であると認められる職種が相当の割合を占める業種について定められた率を乗じて得た数）を除いた労働者数である。

注2 法令上、③A欄の「重度身体障害者及び重度知的障害者」については、1人を2人に相当するものとしており、F欄の計を算出するに当たりダブルカウントを行い、D欄の「重度以外の身体障害者及び知的障害者である短時間労働者」及びE欄の「重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である特定短時間労働者」については、1人を0.5人に相当するものとしており、F欄の計を算出するに当たり0.5カウントとしている。

注3 A、C欄は1週間の所定労働時間が30時間以上の労働者、B、D欄は1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の労働者、E欄は1週間の所定労働時間が10時間以上20時間未満の労働者である。

注4 G欄の「うち新規雇用分」は、令和5年6月2日から令和6年6月1日までの1年間に新規に雇い入れられた障害者数である。

注5 () 内は令和5年6月1日現在の数値である。

② 障害種別雇用状況

区分	① 障害者の数 (注1)	② 身体障害者の数						
		a. 重度身体障害者（注4）	b. 重度身体障害者である短時間労働者（注4）	c. 重度以外の身体障害者（注4）	d. 重度以外の身体障害者である短時間労働者（注4）	e. 重度身体障害者である特定短時間労働者（注4）	f. 計 a×2 + b + c + (d + e) ×0.5（注2） （注3）	g. うち新規雇用分（注5）
民間企業	人 677,461.5 (642,178.0)	人 107,220 (104,794)	人 13,040 (13,119)	人 130,667 (128,976)	人 16,593 (16,949)	人 5,011 (ー)	人 368,949.0 (360,157.5)	人 26,889.0 (24,664.5)

区分	③ 知的障害者の数							④ 精神障害者の数				
	a. 重度知的障害者 (注4)	b. 重度知的障害者である短時間労働者 (注4)	c. 重度以外の知的障害者 (注4)	d. 重度以外の知的障害者である短時間労働者 (注4)	e. 重度知的障害者である特定短時間労働者 (注4)	f. 計 a×2+b+c+(d+e) ×0.5 (注2) (注3)	g. うち新規雇用分 (注5)	c. 精神障害者 (注4)	d. 精神障害者である短時間労働者 (注4)	e. 精神障害者である特定短時間労働者 (注4)	f. 計 c+d+ex 0.5 (注3)	g. うち新規雇用分 (注5)
民間企業	人 22,915 (22,524)	人 4,469 (4,434)	人 95,510 (90,787)	人 22,965 (22,907)	人 1,008 (—)	人 157,795.5 (151,722.5)	人 14,456.0 (13,574.0)	人 109,827 (96,222)	人 36,902 (34,076)	人 7,976 (—)	人 150,717.0 (130,298.0)	人 30,530.5 (25,319.0)

注1 ①欄の「障害者の数」とは②③④f欄の計である。

注2 ②③a欄の重度障害者については法令上、1人を2人に相当するものとしており、②③f欄の計を算出するに当たりダブルカウントとしている。

注3 法令上、②③d欄の重度以外の身体障害者及び知的障害者である短時間労働者並びに②③④e欄の重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である特定短時間労働者については、1人を0.5人に相当するものとしており、②③④f欄を算出するに当たり0.5カウントとしている。ただし、②③b欄及び④d欄の重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である短時間労働者については、1人を1カウントとしている。

注4 ②③のa c欄及び④のc欄は1週間の所定労働時間が30時間以上の労働者、②③のb d欄及び④のd欄は1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の労働者、②③④のe欄は1週間の所定労働時間が10時間以上20時間未満の労働者である。

注5 ②③④g欄の「うち新規雇用分」は、令和5年6月2日から令和6年6月1日までの1年間に新規に雇い入れられた障害者数である。

注6 () 内は令和5年6月1日現在の数値である。

【第2表】企業規模別の雇用状況

① 概況

区分	① 企業数	② 法定雇用障害者数の算定の基礎となる労働者数(注1)	③ 障害者の数							④ 実雇用率 F÷② ×100	⑤ 法定雇用率達成企業の数	⑥ 法定雇用率達成企業の割合
			A. 重度身体障害者及び重度知的障害者(注3)	B. 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である短時間労働者(注3)	C. 重度以外の身体障害者、知的障害者及び精神障害者(注3)	D. 重度以外の身体障害者及び知的障害者である短時間労働者(注3)	E. 重度身体障害者、重度知的障害者及び精神障害者である特定短時間労働者(注3)	F. 計 A×2+B+C+(D+E)×0.5(注2)	G. うち新規雇用分(注4)			
規模計	企業 117,239 (108,202)	人 28,162,399.0 (27,523,661.0)	人 130,135 (127,318)	人 54,411 (51,629)	人 336,004 (315,985)	人 39,558 (39,856)	人 13,995 (—)	人 677,461.5 (642,178.0)	人 71,875.5 (63,557.5)	% 2.41 (2.33)	企業 53,875 (54,239)	% 46.0 (50.1)
40.0～100人未満	64,840 (55,929)	3,994,359.5 (3,611,353.0)	12,046 (11,150)	13,354 (12,036)	35,548 (31,537)	9,248 (8,859)	1,324 (—)	78,280.0 (70,302.5)	10,090.5 (8,480.5)	1.96 (1.95)	28,747 (26,372)	44.3 (47.2)
100～300人未満	36,946 (36,926)	5,678,380.5 (5,685,618.5)	22,110 (22,043)	12,753 (13,096)	61,588 (60,067)	9,327 (9,892)	2,825 (—)	124,637.0 (122,195.0)	14,305.5 (13,886.0)	2.19 (2.15)	18,138 (19,684)	49.1 (53.3)
300～500人未満	7,077 (7,025)	2,501,456.5 (2,481,809.5)	10,828 (10,689)	4,227 (4,111)	28,988 (26,923)	3,393 (3,345)	1,222 (—)	57,178.5 (54,084.5)	6,512.5 (5,485.5)	2.29 (2.18)	2,909 (3,295)	41.1 (46.9)
500～1,000人未満	4,808 (4,825)	3,089,940.5 (3,110,460.0)	14,684 (14,609)	7,035 (6,125)	37,325 (36,080)	4,100 (4,025)	1,475 (—)	76,515.5 (73,435.5)	8,940.0 (8,136.0)	2.48 (2.36)	2,129 (2,527)	44.3 (52.4)
1,000人以上	3,568 (3,497)	12,898,262.0 (12,634,420.0)	70,467 (68,827)	17,042 (16,261)	172,555 (161,378)	13,490 (13,735)	7,149 (—)	340,850.5 (322,160.5)	32,027.0 (27,569.5)	2.64 (2.55)	1,952 (2,361)	54.7 (67.5)

注 第1表①と同じ

② 障害種別雇用状況

区分	① 障害者の数 (注1)	② 身体障害者の数						
		a. 重度身体障害者(注4)	b. 重度身体障害者である短時間労働者(注4)	c. 重度以外の身体障害者(注4)	d. 重度以外の身体障害者である短時間労働者(注4)	e. 重度身体障害者である特定短時間労働者(注4)	f. 計 ax2+b+c+(d+e)×0.5(注2)(注3)	g. うち新規雇用分(注5)
規模計	企業 677,461.5 (642,178.0)	人 107,220 (104,794)	人 13,040 (13,119)	人 130,667 (128,976)	人 16,593 (16,949)	人 5,011 (—)	人 368,949.0 (360,157.5)	人 26,889.0 (24,664.5)
40.0～100人未満	78,280.0 (70,302.5)	9,944 (9,038)	2,497 (2,372)	16,632 (15,033)	3,450 (3,334)	509 (—)	40,996.5 (37,148.0)	
100～300人未満	124,637.0 (122,195.0)	18,710 (18,609)	3,311 (3,499)	26,763 (26,833)	4,147 (4,433)	1,096 (—)	70,115.5 (69,766.5)	
300～500人未満	57,178.5 (54,084.5)	9,161 (9,030)	1,212 (1,255)	11,476 (11,534)	1,506 (1,495)	441 (—)	31,983.5 (31,596.5)	
500～1,000人未満	76,515.5 (73,435.5)	12,427 (12,358)	1,627 (1,491)	14,490 (14,746)	1,780 (1,836)	543 (—)	42,132.5 (41,871.0)	
1,000人以上	340,850.5 (322,160.5)	56,978 (55,759)	4,393 (4,502)	61,306 (60,830)	5,710 (5,851)	2,422 (—)	183,721.0 (179,775.5)	

区分	③ 知的障害者の数							④ 精神障害者の数				
	a. 重度知的障害者(注4)	b. 重度知的障害者である短時間労働者(注4)	c. 重度以外の知的障害者(注4)	d. 重度以外の知的障害者である短時間労働者(注4)	e. 重度知的障害者である特定短時間労働者(注4)	f. 計 ax2+b+c+(d+e)×0.5(注2)(注3)	g. うち新規雇用分(注5)	c. 精神障害者(注4)	d. 精神障害者である短時間労働者(注4)	e. 精神障害者である特定短時間労働者(注4)	f. 計 c+d+e×0.5(注3)	g. うち新規雇用分(注5)
規模計	人 22,915 (22,524)	人 4,469 (4,434)	人 95,510 (90,787)	人 22,965 (22,907)	人 1,008 (—)	人 157,795.5 (151,722.5)	人 14,456.0 (13,574.0)	人 109,827 (96,222)	人 36,902 (34,076)	人 7,976 (—)	人 150,717.0 (130,298.0)	人 30,530.5 (25,319.0)
40.0～100人未満	2,102 (2,112)	1,116 (1,073)	9,610 (8,804)	5,798 (5,525)	136 (—)	17,897.0 (16,863.5)		9,306 (7,700)	9,741 (8,591)	679 (—)	19,386.5 (16,291.0)	
100～300人未満	3,400 (3,434)	1,206 (1,243)	16,748 (16,535)	5,180 (5,459)	283 (—)	27,485.5 (27,375.5)		18,077 (16,699)	8,236 (8,354)	1,446 (—)	27,036.0 (25,053.0)	
300～500人未満	1,667 (1,659)	406 (412)	7,804 (7,389)	1,887 (1,850)	88 (—)	12,531.5 (12,044.0)		9,708 (8,000)	2,609 (2,444)	693 (—)	12,663.5 (10,444.0)	
500～1,000人未満	2,257 (2,251)	450 (484)	9,859 (9,548)	2,320 (2,189)	90 (—)	16,028.0 (15,628.5)		12,976 (11,786)	4,958 (4,150)	842 (—)	18,355.0 (15,936.0)	
1,000人以上	13,489 (13,068)	1,291 (1,222)	51,489 (48,511)	7,780 (7,884)	411 (—)	83,853.5 (79,811.0)		59,760 (52,037)	11,358 (10,537)	4,316 (—)	73,276.0 (62,574.0)	

注 第1表②と同じ

【第3表】産業別の雇用状況

概況

区分	① 企業数	② 法定雇用障害者 数の算定の基礎 となる労働者数 (注1)	③ 障害者の数							④ 実雇用率 $F \div ② \times 100$	⑤ 法定雇用 率達成企 業の数	⑥ 法定雇用 率達成企 業の割合
			A. 重度身体 障害者及び 重度知的障 害者(注3)	B. 重度身体 障害者、重 度知的障 害者及び精 神障害者 である短時間 労働者(注3)	C. 重度以外 の身体障害 者、知的障 害者及び精 神障害者 (注3)	D. 重度以外 の身体障害 者及び知的 障害者であ る短時間 労働者(注3)	E. 重度身体 障害者、重 度知的障 害者及び精 神障害者 である特定短 時間労働者(注 3)	F. 計 $A \times 2 + B + C + (D + E) \times 0.5$ (注2)	G. うち新 規雇用分 (注4)			
産業計	企業 117,239 (108,202)	人 28,162,399.0 (27,523,661.0)	人 130,135 (127,318)	人 54,411 (51,629)	人 336,004 (315,985)	人 39,558 (39,856)	人 13,995 (—)	人 677,461.5 (642,178.0)	人 71,875.5 (63,557.5)	% 2.41 (2.33)	企業 53,875 (54,239)	% 46.0 (50.1)
農、林、漁業	488 (410)	46,319.0 (43,442.5)	185 (181)	56 (48)	624 (597)	63 (50)	15 (—)	1,089.0 (1,032.0)	91.5 (95.0)	2.35 (2.38)	257 (245)	52.7 (59.8)
鉱業、採石業、 砂利採取業	75 (75)	10,645.5 (10,728.0)	55 (49)	5 (7)	125 (119)	3 (1)	1 (—)	242.0 (224.5)	18.0 (12.5)	2.27 (2.09)	40 (37)	53.3 (49.3)
建設業	5,579 (4,830)	891,418.5 (858,432.0)	4,720 (4,553)	549 (522)	8,812 (8,232)	241 (242)	98 (—)	18,970.5 (17,981.0)	1,495.0 (1,382.0)	2.13 (2.09)	2,652 (2,468)	47.5 (51.1)
製造業	27,328 (25,535)	7,120,821.5 (7,042,740.5)	38,087 (37,513)	3,989 (3,845)	86,794 (82,675)	2,948 (3,044)	716 (—)	168,789.0 (163,068.0)	12,526.5 (11,194.0)	2.37 (2.32)	14,183 (14,543)	51.9 (57.0)
電気・ガス・ 熱供給・水道業	284 (280)	209,207.5 (212,582.5)	1,281 (1,296)	67 (71)	2,521 (2,436)	16 (29)	9 (—)	5,162.5 (5,113.5)	318.5 (249.0)	2.47 (2.41)	118 (142)	41.5 (50.7)
情報通信業	7,063 (6,443)	1,839,544.5 (1,755,423.0)	8,430 (7,876)	1,065 (945)	18,228 (16,602)	282 (287)	200 (—)	36,394.0 (33,442.5)	4,569.0 (3,851.0)	1.98 (1.91)	1,893 (1,926)	26.8 (29.9)
運輸業、郵便業	8,164 (7,521)	1,616,259.0 (1,593,487.0)	7,812 (7,627)	1,847 (1,855)	20,989 (20,251)	1,615 (1,566)	625 (—)	39,580.0 (38,143.0)	3,314.0 (3,031.0)	2.45 (2.39)	4,294 (4,242)	52.6 (56.4)
卸売業、小売業	17,718 (16,414)	4,408,787.5 (4,332,651.5)	16,463 (16,284)	9,252 (9,141)	52,367 (49,741)	7,883 (8,277)	4,208 (—)	100,590.5 (95,588.5)	10,116.0 (9,474.0)	2.28 (2.21)	6,500 (6,654)	36.7 (40.5)
金融業、保険業	1,493 (1,436)	1,106,385.0 (1,104,449.5)	6,173 (6,159)	591 (491)	12,963 (12,304)	292 (323)	135 (—)	26,113.5 (25,274.5)	2,361.0 (1,934.5)	2.36 (2.29)	516 (573)	34.6 (39.9)
不動産業、 物品賃貸業	2,318 (2,113)	523,376.5 (514,089.0)	2,048 (2,025)	658 (625)	5,344 (5,190)	471 (457)	209 (—)	10,438.0 (10,093.5)	1,302.5 (1,168.0)	1.99 (1.96)	730 (800)	31.5 (37.9)
学術研究、専門・ 技術サービス業	4,389 (3,813)	1,438,895.0 (1,330,713.0)	6,392 (5,853)	2,026 (1,848)	16,943 (14,937)	1,585 (1,522)	762 (—)	32,926.5 (29,252.0)	3,599.5 (3,064.0)	2.29 (2.20)	1,432 (1,341)	32.6 (35.2)
宿泊業、飲食 サービス業	3,545 (3,151)	825,715.0 (771,805.5)	2,820 (2,689)	2,428 (2,185)	9,200 (8,335)	2,689 (2,640)	1,064 (—)	19,144.5 (17,218.0)	2,568.5 (1,941.0)	2.32 (2.23)	1,585 (1,539)	44.7 (48.8)
生活関連サービ ス業、娯楽業	3,224 (2,937)	503,833.0 (486,023.0)	2,162 (2,088)	1,287 (1,270)	6,238 (5,998)	1,076 (1,038)	402 (—)	12,588.0 (11,963.0)	1,239.5 (1,207.0)	2.50 (2.46)	1,315 (1,342)	40.8 (45.7)
教育、学習支援業	2,556 (2,381)	535,617.5 (524,152.5)	2,231 (2,129)	780 (749)	4,593 (4,280)	380 (368)	149 (—)	10,099.5 (9,471.0)	1,241.0 (1,032.5)	1.89 (1.81)	849 (875)	33.2 (36.7)
医療、福祉	19,950 (18,688)	3,236,935.5 (3,173,138.5)	14,244 (14,231)	23,110 (21,920)	42,666 (40,121)	15,024 (14,897)	3,127 (—)	103,339.5 (97,951.5)	15,734.5 (13,551.0)	3.19 (3.09)	11,624 (11,612)	58.3 (62.1)
複合サービス事業	890 (883)	287,957.5 (288,991.0)	1,367 (1,376)	693 (379)	3,303 (3,155)	397 (321)	120 (—)	6,988.5 (6,446.5)	579.0 (495.5)	2.43 (2.23)	362 (413)	40.7 (46.8)
サービス業	12,175 (11,292)	3,560,681.0 (3,480,812.0)	15,665 (15,389)	6,008 (5,728)	44,294 (41,012)	4,593 (4,794)	2,155 (—)	85,006.0 (79,915.0)	10,801.5 (9,875.5)	2.39 (2.30)	5,525 (5,487)	45.4 (48.6)

注 第1表①と同じ

月号	項目	【執筆者】／＜取材先＞タイトル
2024年10月号 (5564)	私のひとこと	【脚本家・舞台手話通訳家 米内山陽子さん】他人の大人
	職場ルポ	＜株式会社大風印刷＞一緒に働くことが、あたりまえの職場に
	クローズアップ	マンガでわかる！ わが社の障害者雇用物語 第2回 業務の切り出し・選定のコツ
	JEEDインフォメーション	「障害者雇用納付金制度に基づく各種助成金」の活用事例／国立職業リハビリテーションセンター 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター 訓練生募集のお知らせ
	グラフィア	＜堀長木材商店＞高齢化が進む製材業の貴重な働き手
	エッセイ	【映画監督 和島香太郎】てんかんとともに 第4回 眠れぬ夜はだれのせい
	編集委員が行く	【松為信雄】＜清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ、岐阜障害者職業センター、株式会社社会岐サービス＞人的支援ネットワークが職場定着を支える
	省庁だより	【厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課】ハローワークを通じた「障害者の就職件数」が過去最高を更新 ―令和5年度障害者の職業紹介状況等―
研究開発レポート		オンラインによる就労支援サービスの提供に関する調査研究
2024年11月号 (5565)	私のひとこと	【北星学園大学短期大学部教授 藤原里佐さん】障害者家族の高齢化 ～ケアの限界と家族支援～
	職場ルポ	＜株式会社吉川油脂＞社員寮完備、生活支援を受けながら安定就労
	クローズアップ	マンガでわかる！ わが社の障害者雇用物語 第3回 職場実習をやってみよう！
	JEEDインフォメーション	第44回全国アビリンピック開催のお知らせ／2024(令和6)年度1月開催 研修のご案内／「障害者雇用事例リファレンスサービス」を活用して「働く広場」の掲載記事が探せます！
	グラフィア	＜社会福祉法人和幸福 特別養護老人ホーム和幸福＞障害者雇用で人材不足を乗り越える
	エッセイ	【元力士 豊ノ島】てんかんとともに 最終回 夢を追い、そして与え続ける
	編集委員が行く	【金塚たけし】＜ハミュー株式会社、ハミュー株式会社 プロノ札幌本店、NPO法人クロスジョブ クロスジョブ札幌＞成果を上げるためのチームづくり ～障害者の法定雇用率未達成企業から5年間の軌跡～
	省庁だより	【内閣府】令和6年版 障害者白書概要①
研究開発レポート		障害者手帳のない難病患者の就労困難性と支援ニーズの実態
2024年12月号 (5566)	私のひとこと	【車いすユーザー・医療者 三井和哉さん】車いすユーザーの看護師が伝える、障害受傷から一般就労に至るまでの心境
	職場ルポ	＜株式会社タカショー＞ピッキングや梱包作業、物流を支える戦力に
	クローズアップ	マンガでわかる！ わが社の障害者雇用物語 第4回 求人募集と採用選考
	JEEDインフォメーション	障害者雇用を進める事業主のみならず 就労支援機器をご活用ください！／障害者雇用のためのマニュアル・好事例集などのごあんない／JEEDメールマガジン（登録無料） 新規登録者募集中!!
	グラフィア	＜株式会社鳥取銀行＞銀行業務を支える
	エッセイ	【同志社大学社会学部教授 立木茂雄】誰一人取り残さない防災とは？ 第1回 事務分掌主義が招いた福祉と防災の分断
	編集委員が行く	【金井渉】＜株式会社かんでんエルハート＞ビジネスパートナーとの連携による新規事業の創出と人材育成への取り組み
	省庁だより	【内閣府】令和6年版 障害者白書概要②
研究開発レポート		AI等の技術進展に伴う障害者の職域変化等に関する調査研究
2025年1月号 (5567)	リーダーズトーク	第8回＜株式会社ベネッセホールディングス 常務執行役員CHRO兼人財・総務本部長 村上久乃さん＞仕事を楽しく、働きがいのある職場でBenesse＝「よく生きる」表現へ
	職場ルポ	＜アール・ビー・コントロールズ株式会社＞ジョブコーチを中心に支援体制、戦力化と定着を図る
	クローズアップ	マンガでわかる！ わが社の障害者雇用物語 第5回 職場定着に向けて
	JEEDインフォメーション	令和7年度「障害者雇用納付金」申告および「障害者雇用調整金」等申請のお知らせ／障害者雇用納付金関係業務調査のごあんない～障害者雇用納付金制度を支える仕組みです～／障害者雇用の専門家が企業のみなさまを支援します～「障害者雇用支援人材ネットワーク事業」のごあんない～
	グラフィア	＜株式会社特殊衣料＞「ともにたたく」 ～障害者が働きやすい職場～
	エッセイ	【同志社大学社会学部教授 立木茂雄】誰一人取り残さない防災とは？ 第2回 災害は不平等を拡大させるレンズ
	新春特別対談	＜松為信雄編集委員×八重田淳編集委員＞これからの時代の障害者雇用とは
	研究開発レポート	職場適応を促進するための相談技法の開発 ～ジョブコーチ支援における活用に向けて～
2025年2月号 (5568)	私のひとこと	【滋賀県立美術館ディレクター（館長） 保坂健二朗さん】アール・ブリュットと美術館の未来 滋賀県、パリ、サンフランシスコの事例紹介を通じて
	職場ルポ	＜日本海冷凍魚株式会社＞意思表示が苦手な従業員も安心できる職場づくり
	クローズアップ	マンガでわかる！ わが社の障害者雇用物語 最終回 障害者雇用を始めてみませんか
	JEEDインフォメーション	第32回(令和6年度)職業リハビリテーション研究・実践発表会オンデマンド配信／令和7年度「障害者雇用納付金」申告および「障害者雇用調整金」等申請のお知らせ／障害者雇用の月刊誌「働く広場」がいつでも無料で読みいただけます！
	グラフィア	＜大畑建設株式会社＞働き続けたい職場 ～個々の特性を活かして働く～
	エッセイ	【同志社大学社会学部教授 立木茂雄】誰一人取り残さない防災とは？ 第3回 レジリエンスの多元性
	編集委員が行く	【菊地一文】＜青森県特別支援学校技能検定・発表会＞Chance! Challenge! Change! 特別支援学校技能検定の意義と効果
	省庁だより	【農林水産省 農村振興局 都市農村交流課】農福連携の推進について
研究開発レポート		事業主が採用後に障害を把握した発達障害者の就労継続事例等に関する調査研究
2025年3月号 (5569)	特集	グラフィア
		アビリンピックルポ
		入賞者一覧
		「アビリンピック」についてご紹介！
	JEEDインフォメーション	新たに開発した支援技法をご紹介します／「読者アンケート」結果発表!!
	エッセイ	【同志社大学社会学部教授 立木茂雄】誰一人取り残さない防災とは？ 第4回 個々の脆弱性に応じた衡平性原理
省庁だより	特別企画	企業のみなさまにおすすめるマニュアルのご紹介～法定雇用率の引上げや「雇用の質」の向上に向けて～
	省庁だより	【厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課】令和6年 障害者雇用状況の集計結果①



月号	項目	【執筆者】／＜取材先＞タイトル
2024年4月号 (No.555)	私のひとこと	【東京大学・大学院総合文化研究科・教養学部 教授 中澤公孝さん】障がいがあるアスリートの脳が見せる人間の未知なる可能性
	職場ルポ	＜株式会社マサヤ＞じっくり確実な研修で、主要業務をになう人材に
	クローズアップ	障害のある人とスポーツ 第3回 ～パラアスリートを支える装具～
	JEEDインフォメーション	令和6年度「障害者雇用納付金」申告および「障害者雇用調整金」等申請のお知らせ／障害者雇用納付金電子申告申請システムのご案内
	グラビア	＜医療法人あすか会 サービス付き高齢者向け住宅 Cocode百楽園＞介護の現場を支える
	エッセイ	【日本点字図書館 会長 田中徹二】印象深い海外の視覚障害者 第3回 ウォン・ユン・ルン（マレーシア）
	編集委員が行く	【平岡典子】＜株式会社マイナビパートナーズ＞発達障がい者のスキルアップ・戦力化への取り組み ～「ITプロジェクト」発足～
	省庁だより	【厚生労働省 職業安定局 障害者雇用対策課】令和5年 障害者雇用状況の集計結果②
2024年5月号 (No.556)	研究開発レポート	第31回 職業リハビリテーション研究・実践発表会 Part 1 特別講演「アフターコロナの障がい者雇用 ～障がい者雇用の質向上に向けて～」
	この人を訪ねて	＜NPO法人ピープルデザイン研究所 代表理事 田中真宏さん＞ワクワクする場で「就労体験」を
	職場ルポ	＜株式会社こんの＞リサイクルを支える現場、安心して働ける環境に
	クローズアップ	障害のある人とスポーツ 第4回 ～肢体不自由とスポーツ、視覚障害とスポーツ～
	JEEDインフォメーション	国立職業リハビリテーションセンター 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター 訓練生募集のお知らせ／令和6年度「地方アビリンピック」開催地一覧／作品募集 令和6年度 絵画コンテスト 働くすがた ～今そして未来～・写真コンテスト 職場で輝く障害者 ～今その瞬間～
	グラビア	＜株式会社クリハラ＞安心安全な食材を店舗へ
	エッセイ	【日本点字図書館 会長 田中徹二】印象深い海外の視覚障害者 第4回 アルド・グラッシーニ（イタリア）
	編集委員が行く	【八重田淳】＜EY Japan株式会社＞DE&I専門職から見た障害者雇用のあり方
2024年6月号 (No.557)	省庁だより	【厚生労働省 職業安定局】令和6年度 予算の概要（障害者雇用施策関係部分の抜粋版）
	研究開発レポート	第31回 職業リハビリテーション研究・実践発表会 Part 2 パネルディスカッションⅠ「情報通信技術の活用を進めた障害者雇用のあり方について」Ⅱ「アセスメントを活用した就労支援の今後のあり方について」
	メダリストを訪ねて	第3回＜第10回国際アビリンピック電子機器組立種目銀メダリスト 小倉怜さん＞「できない」から「できる」へ、見える世界広がる
	職場ルポ	＜株式会社キョウセイ＞当事者主体で「悩まない、迷わない」現場に
	JEEDインフォメーション	2024年度（令和6年度）職業リハビリテーションに関する研修のご案内／令和6年度「地方アビリンピック」開催地一覧／障害者雇用を進める事業主のみなさまへ 就労支援機器をご活用ください！
	グラビア	＜ナプテスコリンク株式会社＞みんなが笑いあいながら働ける職場
	エッセイ	【日本点字図書館 会長 田中徹二】印象深い海外の視覚障害者 最終回 アイン・ビエト・ディン（ベトナム）
	編集委員が行く	【三鴨岐子】＜社会医療法人清和会 西川病院、石見食品株式会社＞町をあげて「幸せな就労」を支える IPSを活用した就労の実現とその意義
2024年7月号 (No.558)	クローズアップ	障害のある人とスポーツ 第5回 ～知的障害とスポーツ、聴覚障害とスポーツ～
	研究開発レポート	14年間の追跡データから見た障害者の就業状況 ～職業生活からの引退の傾向～
	メダリストを訪ねて	最終回＜第10回国際アビリンピックネイリスト種目銀メダリスト 山下加代さん＞「不向きだった」ネイル施術、日々の積み重ねが結果に
	職場ルポ	＜四国管財株式会社＞効率的な分業、特性に応じた支援で戦力化
	JEEDインフォメーション	令和6年度 就業支援実践研修のご案内／令和6年度「地方アビリンピック」開催地一覧／障害者職業総合センター職業センター 2023（令和5）年度成果物のご案内
	グラビア	＜株式会社ワイビーエム＞毎日やりがいを感じる。働けることがうれしい
	エッセイ	【楽園画家 長沼慧】てんかんとともに 第1回 彩りのある楽園をつくっていく
	編集委員が行く	【若林功】＜東京障害者職業能力開発校、石川県立金沢産業技術専門学校＞職業能力開発校における発達障害者と精神障害者への職業訓練
2024年8月号 (No.559)	クローズアップ	障害のある人とスポーツ 最終回 ～だれもがスポーツを楽しめる社会に向けて～
	研究開発レポート	テレワークにおける職場適応のための支援技法の開発
	私のひとこと	【京都大学大学院医学研究科 精神医学教室 客員研究員 亀井士郎さん】ありふれた、過酷な病 ～「強迫症」を発症した精神科医が伝えたいこと～
	職場ルポ	＜静岡信用金庫＞高いパソコンスキルや能力、こまやかな支援で活かす
	JEEDインフォメーション	“事例で見る”“動画で見る”雇用分野における合理的配慮事例の紹介』／JEEDメールマガジン（登録無料） 新規登録者募集中!!
	グラビア	＜株式会社小田原百貨店 Pantry 南足柄店＞働くことはたいへんだけ楽しい
	エッセイ	【看護師 加納佳代子】てんかんとともに 第2回 てんかんでんてんこ 聞いてみなけりゃわからない
	編集委員が行く	【大塚由紀子】＜株式会社王将ハートフル（久御山工場）＞すべての社員がやりがいや成長を感じられる会社を目指して
2024年9月号 (No.560)	省庁だより	【厚生労働省 障害保健福祉部】令和6年度 障害保健福祉部予算の概要
	研究開発レポート	障害者の雇用実態および障害者の従事する職務の実態
	この人を訪ねて	＜書家・随筆家／書家 金澤翔子さんの母 金澤泰子さん＞一人暮らしをするダウン症の娘のこと
	職場ルポ	＜株式会社ダイワ技術サービス＞土質試験業務やCAD操作などで能力を発揮
	クローズアップ	マンガでわかる！ わが社の障害者雇用物語 第1回 障害者雇用、何から始める？
	JEEDインフォメーション	国立職業リハビリテーションセンター 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター 企業担当者向けセミナーのご案内／障害者職業訓練推進交流プラザのご案内／2024（令和6）年度就業支援課特別セミナーのご案内
	グラビア	令和6年度障害者雇用支援月間における絵画・写真コンテスト入賞作品「絵画コンテスト 働くすがた～今そして未来～」「写真コンテスト 職場で輝く障害者～今その瞬間～」
	エッセイ	【シンガー 水野佳】てんかんとともに 第3回 ありのままの自分で生きていく
2024年10月号 (No.561)	編集委員が行く	【諏訪田克彦】＜こまつな菊ちゃんハウス＞「きときと」こまつな
	省庁だより	【文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課】特別支援教育における就労支援の取り組み
	研究開発レポート	高次脳機能障害者の就労に役立つ視聴覚教材の開発

同僚から学んだ「見える」
ということ

Y・F（東京都）

「歩きスマホが視覚障害者には一番危ないですね。私には視力がないので、相手からぶつかってきたら避けようがないんです」

イベントで登壇した視覚障害のある同僚の声に、私はドキッとしました。スマートフォンは音声の読みあげに活用でき、視覚障害者にとっても有益なツール。晴眼者にとっても便利なアイテムで、いつでもどこでもだれとでも連絡が取れる・つながれるようになりました。その一方で、周囲の安全確認を疎かにし、ぶつかっても謝らず去っていく。「歩きスマホはやめて」とアナウンスもあり、張り紙もしてあるのに一向に減らない歩きスマホ。物理的に目が見えて耳が聞こえていても、じつは見えていない・聞こえていない人のなんと多いことでしょうか。

歩きスマホで遠くの家族・友人とつながっていたとしても、本当にそれはつながっているといえるのでしょうか。あなたは一体何とつながっているのかと、私は聞きたいのです。いまあなたがつながらなければいけないのは、たまたまあなたの近くを通りかかった他人であり、目の前にいる視覚障害があつたりする他人の方なのではないでしょうか。目を開いて、心の目を開いて見てほしいのです。つながるとは本来、そういうことなのですから。

読者アンケートにご協力をお願いします！

※カメラで読み取ったリンク先が「https://krs.bz/jeed/m/hiroba_enquete」であることをご確認ください。

回答はこちらから→



次号予告

●私のひとこと

国立障害者リハビリテーションセンター研究所機能系障害研究部研究員の井手正和さんに、感覚過敏を知ることで、障害のある人が雇用現場で能力を発揮できる可能性についてご執筆いただきます。

●職場ルポ

油圧コントロールバルブなどを製造している株式会社瀬戸製作所（香川県）を訪ね、障害のある人が正社員として活躍している職場を取材しました。

●グラビア

冷凍食品加工会社の株式会社カン喜（山口県）を取材。障害のある従業員が大きな戦力として働いている様子を紹介します。

●編集委員が行く

平岡典子編集委員が、株式会社リンクライン（神奈川県）と株式会社ドコモ・フラスハート（東京都）を取材。障害者雇用の新たな未来への道を切り拓く、リーダーたちの取組みと声をお届けします。

働く広場

公式X(旧Twitter)
はこちら！

最新号発行のお知らせやコーナー紹介などをお届けします。



@JEED_hiroba

メールマガジン 好評配信中！

詳しくは

JEED メールマガジン

検索



編集委員

(五十音順)

株式会社FVP 代表取締役	大塚由紀子
トヨタグループ株式会社 取締役	大野 聡 士
NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク 副理事・統括施設長	金塚たかし
弘前大学教職大学院 教授	菊 地 一 文
武庫川女子大学 准教授	諏訪田克彦
サントリービレッジソリューション株式会社 人事部 副部长	平 岡 典 子
神奈川県立保健福祉大学 名誉教授	松 爲 信 雄
有限会社まるみ 取締役社長	三 嶋 岐 子
筑波大学大学院 教授	八 重 田 淳
国際医療福祉大学 准教授	若 林 功

あなたの原稿をお待ちしています

■声—障害者雇用にかかわるお考えやご意見、行事やできごとなどを500字以内で編集部（企画部情報公開広報課）まで。

●発行—独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）

発行人—企画部長 鈴井秀彦

編集人—企画部次長 網川香代子

〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

電話 043-213-6200（企画部情報公開広報課）

ホームページ <https://www.jeed.go.jp>

メールアドレス hiroba@jeed.go.jp

●編集委託—株式会社労働調査会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-4-5

電話 03-3915-6415 FAX 03-3915-9041

働く広場

障害者と雇用

3月号

令和7年2月25日発行
無断転載を禁ずる

・本誌に掲載した論文等で意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りします。また、本誌では「障害」という表記を基本としていますが、執筆者・取材先の方針などから、ほかの表記とすることがあります。



「歯科技工」



「縫製」



「電子機器組立」



「建築CAD」



「ホームページ」



「機械CAD」



「家具」



「フラワーアレンジメント」



「表計算」



「オフィスアシスタント」



「ワード・プロセッサ」



「ネイル施術」



技能デモンストレーション「ドローン操作」



技能デモンストレーション「RPA」



「障害者ワークフェア2024」



特設ステージでは、さまざまなイベントが行われた



競技終了後、競技ごとに講評が行われた

第44回全国アビリンピック 閉会式



同僚らが寄せ書きをした国旗を掲げ、表彰台に向かう
「電子機器組立」金賞、小西将矢さん（愛知県）



選手らが一堂に会し閉会式が行われた



客席に手を振る「パソコンデータ入力」入賞者のみなさん



金賞受賞者には金メダルとあわせて、ビクトリーブーケと副賞が贈られた



互いの健闘をたたえ合う「ネイル施術」金賞の
板倉令奈さん（沖縄県）（左）と銅賞の一木侑子さん（東京都）（右）



ガッツポーズをとる「ワード・プロセッサ」金賞の
岡出慎之介さん（東京都）（左）と手を振る銅賞の尾野多恵さん（岩手県）（右）



金メダリストらが集合し、記念撮影。よろこびの笑顔があふれる



ーアビリンピックー

☆BILYMPICS



アビリンピック
マスコットキャラクター
アビリス

最新情報は
こちらから!



第45回全国障害者技能競技大会

障害者ワークフェア2025

～働く障害者を応援する仲間の集い～



2025 / 10 / 18 (土)

(10/17 (金) ▶ 10/19 (日))

愛知県国際展示場

(Aichi Sky Expo)

(愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号)

本大会は、第11回国際アビリンピック
(2027年5月、フィンランド・ヘルシン
キにて開催) 派遣選手選考会を兼ね
て実施します。

